

モダンルーフ75 Fタイプ 移動桁タイプ・バルコニータイプ

取付・取扱説明書

モダンルーフ75をお買いあげいただきありがとうございます。

末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いします。

●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

施工上の注意事項

アルミ製品は施工時の取扱いによっては異常腐食を起こし、思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

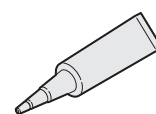
1. 出幅・タイプによって設置可能な階数が決まっておりますので、右表の条件に合った製品を使用してください。
2. 崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
3. 製品の埋め込み深さは、寸法図に表示していますが、軟弱な地盤には、基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。また、寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合には凍上線の下まで基礎を設けてください。

■出幅別設置可能階数表

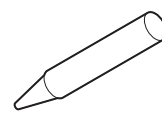
出幅 階数	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺	10尺
1F	●	●	●	●	●	●	●	●
2F	●	●	●	●	—	—	—	—
3F	●	●	—	—	—	—	—	—

※2F・3Fはバルコニータイプを使用してください。

4. 柱の水抜きができるように柱基礎には必ずぐり石を敷いてください。
5. モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれており、腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
6. モルタルやコンクリートの急結剤は、腐食の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、けい酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
7. モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
8. 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。
9. 柱の水抜きができるように、柱の埋設後、水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨脹し柱が破損する恐れがあります。
10. 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合には、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
11. 水漏れの原因となりますので、指定箇所には必ずシーリングを行ってください。
12. シーリング材は右記2種類のシーリング材を使い分けてください。
ポリカーボネート板にシーリングを行う場合、ひび割れなどが考えられますのでシリコン系 脱アルコール形シーリング材(同梱)を使用してください。
13. 躯体にシーリングを行う際は、事前にプライマー処理を行ってください。
14. みだりに改造、変更は避けてください。
15. 施工完了後に取付作業をしたネジ類の締め具合をもう一度お確かめください。



シリコン系
脱アルコール形
シーリング材
(同梱)



変性シリコン系
シーリング材
(現場手配)

※この取付・取扱説明書は、工事完了後お客様にお渡しください。

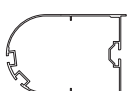
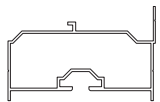

目次


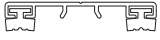


・ 梱包別部品一覧表・・・・・・・・・・・・・・2	□ 連棟ユニットの施工
・ 寸法図(寸法表、据付図、断面図)・・・・・・8	□ 連棟部の加工・・・・・・・・・・・・・・24
・ 施工の流れ・・・・・・・・・・・・・・10	☒ 垂木掛けの連結・・・・・・・・・・・・・・24
・ 施工の手順	☒ 移動桁の連結・・・・・・・・・・・・・・25
1 設置場所の決定・・・・・・・・・・・・・・11	☒ 移動桁用前枠の連結・・・・・・・・・・・・・・26
2 垂木掛けの取り付け・・・・・・・・・・・・・・11	・ お客様へ・・・・・・・・・・・・・・26
3 移動桁の取り付け・・・・・・・・・・・・・・12	
4 垂木・側枠の取り付け・・・・・・・・・・・・・・13	
5 移動桁用前枠の取り付け・・・・・・・・・・・・・・15	
6 母屋の取り付け・・・・・・・・・・・・・・15	
7 屋根材の取り付け・屋根補強材の取り付け (4尺以上の場合)・・・・・・・・・・・・・・16	
8 後付ビードの取り付け・・・・・・・・・・・・・・20	
9 キャップの取り付け・・・・・・・・・・・・・・21	
10 縦樋の取り付け・・・・・・・・・・・・・・22	
11 支柱の埋設・・・・・・・・・・・・・・23	





梱包別部品一覧表


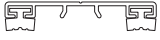


部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)			
		IST-K5	IST-K6	IST-K7	IST-K8
		IST B支柱 2本 移動	IST B支柱 1本 移動	IST 延高B支柱 2本 移動	IST 延高B支柱 1本 移動
数量					
支 柱		2	1	—	—
延 高 支 柱		—	—	2	1
柱 ブ ラ ケ ッ ト		2	1	2	1
柱ブラケット裏板		2	1	2	1
丸 樋	 (φ42 2400 ^L)	1	1	—	—
丸 樋	 (φ42 3100 ^L)	—	—	1	1
丸 樋	 (φ42 1000 ^L)	1	1	1	1
アンカーシャフト	 (φ8 200 ^L)	2	1	2	1
六 角 ボ ル ト M8×16 ^L	 (平・パネ座金付)	4	2	4	2
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (3種)	8	4	8	4



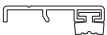




部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール)							
		IST-FK107	IST-FK108	IST-FK109	IST-FK110	IST-FK111	IST-FK112	IST-FK152	—
		IST F移動桁用 前枠・垂木掛A(20)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛A(30)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛A(40)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛B(20)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛B(30)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛B(40)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛A(50)	—
		型式コード・梱包名称(関東間)							
IST-FK137	IST-FK138	IST-FK139	IST-FK140	IST-FK141	IST-FK142	IST-FK162	IST-FK163		
IST F移動桁用 前枠・垂木掛A(18)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛A(27)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛A(36)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛B(18)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛B(27)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛B(36)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛A(45)	IST F移動桁用 前枠・垂木掛A(54)		
数量									
垂木掛け		1	1	1	1	1	1	1	1
移動桁用前枠		1	1	1	1	1	1	1	1
後付ビード		4	6	8	8	12	16	10	12
移動桁用前枠ブラケットR		2	2	3	2	2	3	3	4
移動桁用前枠ブラケットL		1	2	2	1	2	2	3	3
垂木押え		4	6	8	8	12	16	10	12
コーチスクリュー φ6×70L	 (平座金付)	3	4	5	5	7	9	6	7
トラスタッピンネジ φ5×12L	 (3種)	6	8	10	6	8	10	12	14
六角ボルト M6×12L	 (平・パネ座、袋ナット付)	4	6	8	8	12	16	10	12

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール)									
		IST-K113	IST-K114	IST-K115	IST-K153	—	IST-K116	IST-K117	IST-K118	IST-K154	—
		IST移動桁(20)	IST移動桁(30)	IST移動桁(40)	IST移動桁(50)	—	IST移動桁(20)	IST移動桁(30)	IST移動桁(40)	IST移動桁(50)	—
		型式コード・梱包名称(関東間)									
IST-K143	IST-K144	IST-K145	IST-K164	IST-K165	IST-K146	IST-K147	IST-K148	IST-K166	IST-K167		
IST移動桁(18)	IST移動桁(27)	IST移動桁(36)	IST移動桁(45)	IST移動桁(54)	IST補強桁(18)	IST補強桁(27)	IST補強桁(36)	IST補強桁(45)	IST補強桁(54)		
数量											
移動桁		1	1	1	1	1	—	—	—	—	
補強桁		—	—	—	—	—	1	1	1	1	
トラスタッピンネジ φ5×12L	 (3種)	—	—	—	—	—	6	8	10	14	





部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)							
		IST-FK201	IST-FK202	IST-FK203	IST-FK204	IST-FK205	IST-FK206	IST-FK207	IST-FK208
		IST F上止め垂木 (09)1本	IST F上止め垂木 (12)1本 1.5×4	IST F上止め垂木 (15)1本 1.5×5	IST F上止め垂木 (18)1本 1.5×6	IST F上止め垂木 (21)1本	IST F上止め垂木 (24)1本	IST F上止め垂木 (27)1本	IST F上止め垂木 (30)1本
数量									
上 止 垂 木		1	1	1	1	1	1	1	1
屋 根 押 え		1	1	1	1	1	1	1	1
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (ゴム付2種)	6	9	11	11	13	15	18	20
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (3種)	4	4	4	4	4	4	4	4


部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)							
		IST-FK209	IST-FK210	IST-FK211	IST-FK212	IST-FK213	IST-FK214	IST-FK215	IST-FK216
		IST F上止め垂木 (09)2本	IST F上止め垂木 (12)2本 2.0×4	IST F上止め垂木 (15)2本 2.0×5	IST F上止め垂木 (18)2本 2.0×6	IST F上止め垂木 (21)2本	IST F上止め垂木 (24)2本	IST F上止め垂木 (27)2本	IST F上止め垂木 (30)2本
数量									
上 止 垂 木		2	2	2	2	2	2	2	2
屋 根 押 え		2	2	2	2	2	2	2	2
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (ゴム付2種)	12	18	22	22	26	30	33	39
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (3種)	8	8	8	8	8	8	8	8


部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)							
		IST-FK217	IST-FK218	IST-FK219	IST-FK220	IST-FK221	IST-FK222	IST-FK223	IST-FK224
		IST F上止め垂木 (09)3本	IST F上止め垂木 (12)3本 1.5×4 連用	IST F上止め垂木 (15)3本 1.5×5 連用	IST F上止め垂木 (18)3本 1.5×6 連用	IST F上止め垂木 (21)3本	IST F上止め垂木 (24)3本	IST F上止め垂木 (27)3本	IST F上止め垂木 (30)3本
数量									
上 止 垂 木		3	3	3	3	3	3	3	2
屋 根 押 え		3	3	3	3	3	3	3	2
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (ゴム付2種)	18	27	33	33	39	45	50	55
トラスタッピンネジ φ5×12 ^L	 (3種)	12	12	12	12	12	12	12	12


部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)							
		IST-FK301	IST-FK302	IST-FK303	IST-FK304	IST-FK305	IST-FK306	IST-FK307	IST-FK308
		IST F上止め側枠 (09)	IST F上止め側枠 (12)1F用	IST F上止め側枠 (15)1F用	IST F上止め側枠 (18)1F用	IST F上止め側枠 (21)	IST F上止め側枠 (24)	IST F上止め側枠 (27)	IST F上止め側枠 (30)
数量									
上止側枠 R		1	1	1	1	1	1	1	1
上止側枠 L		1	1	1	1	1	1	1	1
端部屋根押え		R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1
上止垂木		1	1	1	1	1	1	1	1
屋根押え		1	1	1	1	1	1	1	1
トラスタッピンネジ φ5×12L (ゴム付 2種)		20	30	36	36	40	48	55	60
トラスタッピンネジ φ5×12L (3種)		10	10	10	10	10	10	10	10


部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)			
		IST-FK309	IST-FK310	IST-FK311	IST-FK312
		IST F下止め側枠 (09)	IST F下止め側枠 (12)	IST F下止め側枠 (15)	IST F下止め側枠 (18)
数量					
下止側枠 R		1	1	1	1
下止側枠 L		1	1	1	1
端部屋根押え		R・L各1	R・L各1	R・L各1	R・L各1
下止垂木		1	1	1	1
屋根押え		1	1	1	1
後付ビード		4	4	4	4
トラスタッピンネジ φ5×12L (ゴム付 2種)		20	30	36	36
トラスタッピンネジ φ5×12L (3種)		10	10	10	10











部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール)								
		IST-K401	IST-K402	IST-K403	IST-K404	IST-K405	IST-K406	IST-K407	IST-K408	IST-K409
		IST 母屋(10) 2本 1.0	IST 母屋(10) 3本 1.5	IST 母屋(10) 4本 2.0	IST母屋 (05)4本	IST母屋 (05)6本	IST母屋 (05)8本	屋根補強材 (20)	IST 屋根補強材 (20)1.0	IST 屋根補強材 (40)2.0
		型式コード・梱包名称(関東間)								
		IST-K431	IST-K432	IST-K433	IST-K434	IST-K435	IST-K436	IST-K437	IST-K438	IST-K439
		IST母屋 (09)2本	IST母屋 (09)3本	IST母屋 (09)4本	IST母屋 (045)4本	IST母屋 (045)6本	IST母屋 (045)8本	IST屋根 補強材(18)	IST屋根 補強材(27)	IST屋根 補強材(36)
		数量								
母屋		2	3	4	4	6	8	—	—	—
屋根補強材		—	—	—	—	—	—	2	3	4
トラスタッピンネジ φ5×12L	 (3種)	4	6	8	8	12	16	—	—	—
トラスタッピンネジ φ5×14L	 (ゴム付 2種)	—	—	—	—	—	—	8	12	16

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール)							
		VE-FK501	VE-FK502	VE-FK503	VE-FK504	VE-FK505	VE-FK506	VE-FK507	VE-FK508
		F屋根材M (09)2枚 ポリカ板 885×986	F屋根材M (12)2枚 ポリカ板 1188×986	F屋根材M (15)2枚 ポリカ板 1490×986	F屋根材M (18)2枚 ポリカ板 1792×986	F屋根材M (21)2枚 ポリカ板 2094×986	F屋根材M (24)4枚 ポリカ板 2397×486	F屋根材M (27)4枚 ポリカ板 2699×486	F屋根材M (30)4枚 ポリカ板 3001×486
		数量							
屋根材 (メーターモジュール)		2	2	2	2	2	4	4	4

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(関東間)							
		VE-FK531	VE-FK532	VE-FK533	VE-FK534	VE-FK535	VE-FK536	VE-FK537	VE-FK538
		F屋根材E (09)2枚 ポリカ板 885×896	F屋根材E (12)2枚 ポリカ板 1188×896	F屋根材E (15)2枚 ポリカ板 1490×896	F屋根材E (18)2枚 ポリカ板 1792×896	F屋根材E (21)2枚 ポリカ板 2094×896	F屋根材E (24)4枚 ポリカ板 2397×441	F屋根材E (27)4枚 ポリカ板 2699×441	F屋根材E (30)4枚 ポリカ板 3001×441
		数量							
屋根材 (関東間)		2	2	2	2	2	4	4	4

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール)							
		VE-FK509	VE-FK510	VE-FK511	VE-FK512	VE-FK513	VE-FK514	VE-FK515	VE-FK516
		F屋根材M (09)3枚 ポリカ板 885×986	F屋根材M (12)3枚 ポリカ板 1188×986	F屋根材M (15)3枚 ポリカ板 1490×986	F屋根材M (18)3枚 ポリカ板 1792×986	F屋根材M (21)3枚 ポリカ板 2094×986	F屋根材M (24)6枚 ポリカ板 2397×486	F屋根材M (27)6枚 ポリカ板 2699×486	F屋根材M (30)6枚 ポリカ板 3001×486
		数量							
屋根材 (メーターモジュール)		3	3	3	3	3	6	6	6

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(関東間)							
		VE-FK539	VE-FK540	VE-FK541	VE-FK542	VE-FK543	VE-FK544	VE-FK545	VE-FK546
		F屋根材E (09)3枚 ポリカ板 885×896	F屋根材E (12)3枚 ポリカ板 1188×896	F屋根材E (15)3枚 ポリカ板 1490×896	F屋根材E (18)3枚 ポリカ板 1792×896	F屋根材E (21)3枚 ポリカ板 2094×896	F屋根材E (24)6枚 ポリカ板 2397×441	F屋根材E (27)6枚 ポリカ板 2699×441	F屋根材E (30)6枚 ポリカ板 3001×441
		数量							
屋根材 (関東間)		3	3	3	3	3	6	6	6

部品名称	形状	型式コード・梱包名称(メーターモジュール・関東間)					
		IST-FK605	IST-FK606	IST-FK607	IST-FK608	IST-06TOP	IST-09TOP
		IST F移動桁用 基本セット 部品箱A	IST F移動桁 基本セット 部品箱B	IST F移動桁用 連棟セット 部品箱A	IST F移動桁 連棟ユニット 部品箱B	ISTバルコニー 取付部品 (オプション)	IST 樋ジャバラ (オプション)
数量							
垂木掛けキャップR		1	1	—	—	—	—
垂木掛けキャップL		1	1	—	—	—	—
移動桁用前枠キャップR		1	1	—	—	—	—
移動桁用前枠キャップL		1	1	—	—	—	—
移動桁キャップ		2	2	—	—	—	—
補強桁キャップ		—	2	—	—	—	—
連結金具 A		—	—	1	2	—	—
連結金具 B		—	—	1	1	—	—
連結金具 C		—	—	1	1	—	—
樋口		1	1	1	1	—	—
ドレン付エルボ		1	1	1	1	—	—
樋エルボ		2	2	2	2	—	—
樋サドル		3	3	3	3	—	—
樋バンド		3	3	3	3	—	—
樋口パッキン		2	2	2	2	—	1
樋口プレート		1	1	1	1	—	—
接着剤		1	1	1	1	—	—
トラスタッピンネジ φ5×12L	 (3種)	10	15	21	30	—	—
ナベドリルネジ φ4×19L		8	8	8	8	—	2
シーリング材		1	1	1	1	—	—
連棟防水テープ	 (50×250)	—	—	2	2	—	—
穴隠しシール	 (10個)	1	1	1	1	—	—
取付・取扱説明書		1	1	1	1	1	—
お客様へ		1	1	1	1	—	—
バルコニー取付金具		—	—	—	—	4	—
支柱キャップ下		—	—	—	—	2	—
コーチスクリュー M6×70L	 (平座金付)	—	—	—	—	8	—
トラスタッピンネジ φ5×10L	 (2種)	—	—	—	—	4	—
六角ボルト M8×90L	 (平・バネ座金、袋ナット1付)	—	—	—	—	4	—
樋口 B		—	—	—	—	—	1
樋ジャバラ	 (φ39.5 532L)	—	—	—	—	—	1

寸法図

■ 寸法表

● 出幅・高さ

出幅(D)	全出幅(DY)	前枠高さ(H)	全高さ(HW)	屋根高さ(HY)
3尺(09)	875	2500	2757	257
4尺(12)	1175		2794	294
5尺(15)	1475		※2831	※331
6尺(18)	1775		※2868	※368
7尺(21)	2075		※2905	※405
8尺(24)	2375		2972	472
9尺(27)	2675		3008	508
10尺(30)	2975		3045	545

● 基礎サイズ

出幅	A
3尺(09)	□300
4尺(12)	
5尺(15)	
6尺(18)	
7尺(21)	□400
8尺(24)	
9尺(27)	
10尺(30)	□500

H・HWは標準高寸法です。延高は+500mmとなります。

※部 基本セットの間口が5000・2.5間・3.0間の場合は+30mmとなります。

● 間口(基本セット)

間型	呼称間口	柱芯間隔(L)	全間口(WY)	屋根ピッチ(P)	
				3~7尺	8~10尺
メーターモジュール	2000	1850	2040	1,000	500
	3000	2850	3040		
	4000	3850	4040		
	5000	4850	5040		
関東間	1.0間(1820)	1670	1860	910	455
	1.5間(2730)	2580	2770		
	2.0間(3640)	3490	3680		
	2.5間(4550)	4400	4590		
	3.0間(5460)	5310	5500		

● 間口(基本セット+連棟ユニット)

間型	呼称間口	柱芯間隔			全間口(WY)	屋根ピッチ(P)	
		(L1)	(L2)	(L3)		3~7尺	8~10尺
メーターモジュール	5000(2000+3000)	1925	2925	—	5040	1000	500
	6000(3000+3000)	2925	2925	—	6040		
	7000(3000+4000)	2925	3925	—	7040		
	8000(4000+4000)	3925	3925	—	8040		
	9000(3000+3000+3000)	2925	3000	2925	9040		
	10000(3000+4000+3000)	2925	4000	2925	10040		
関東間	2.5間(1820+2730)	1745	2655	—	4590	910	455
	3.0間(2730+2730)	2655	2655	—	5500		
	3.5間(2730+3640)	2655	3565	—	6410		
	4.0間(3640+3640)	3565	3565	—	7320		
	4.5間(2730+2730+2730)	2655	2730	2655	8230		
	5.0間(2730+3640+2730)	2655	3640	2655	9140		

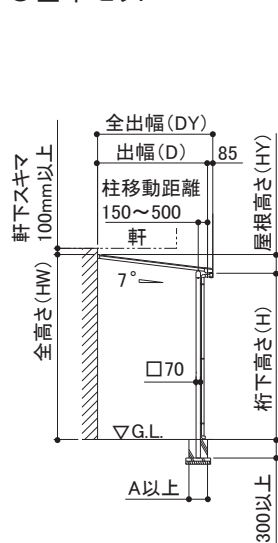
● 移動桁の仕様

○・・・補強桁なし ◎・・・補強桁あり

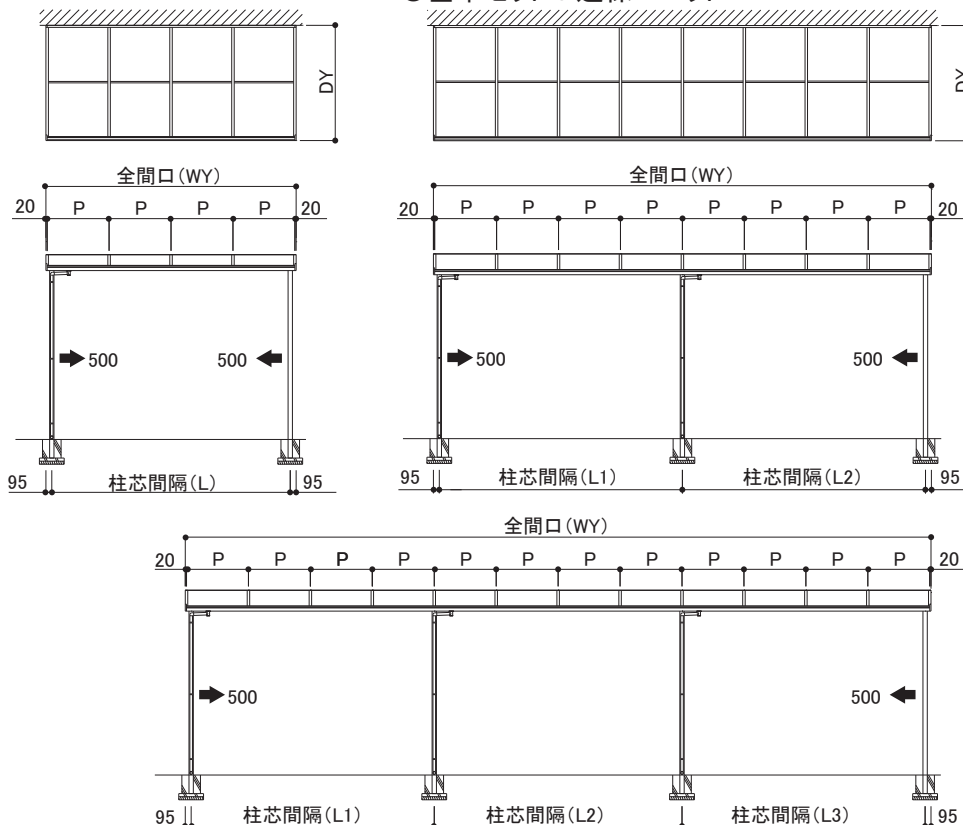
出幅(D)	呼称間口					
	メーターモジュール	2000	3000	4000	5000	—
出幅(D)	関東間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
	3尺	○	○	○	○	○
	4尺	○	○	○	○	○
	5尺	○	○	○	◎	◎
	6尺	○	○	○	◎	◎
	7尺	○	○	○	◎	—
	8尺	◎	◎	◎	—	—
	9尺	◎	◎	◎	—	—
	10尺	◎	◎	◎	—	—

■ 据付図

● 基本セット

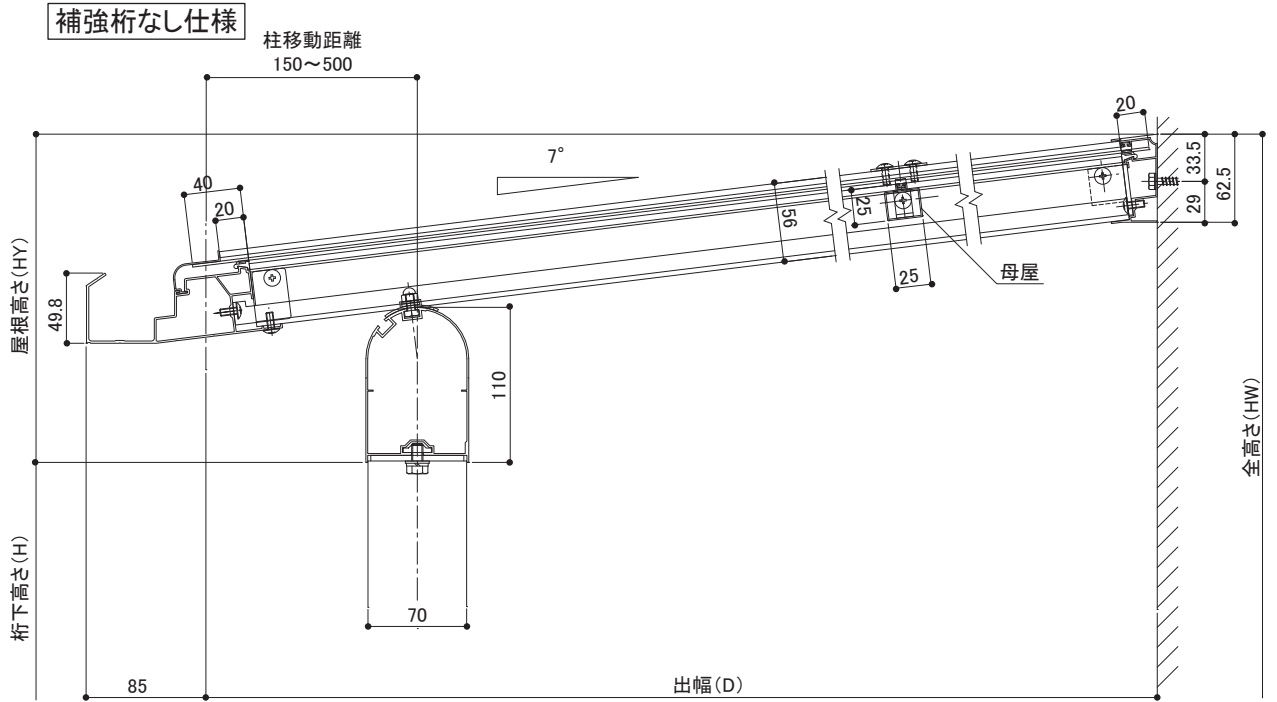


● 基本セット+連棟ユニット

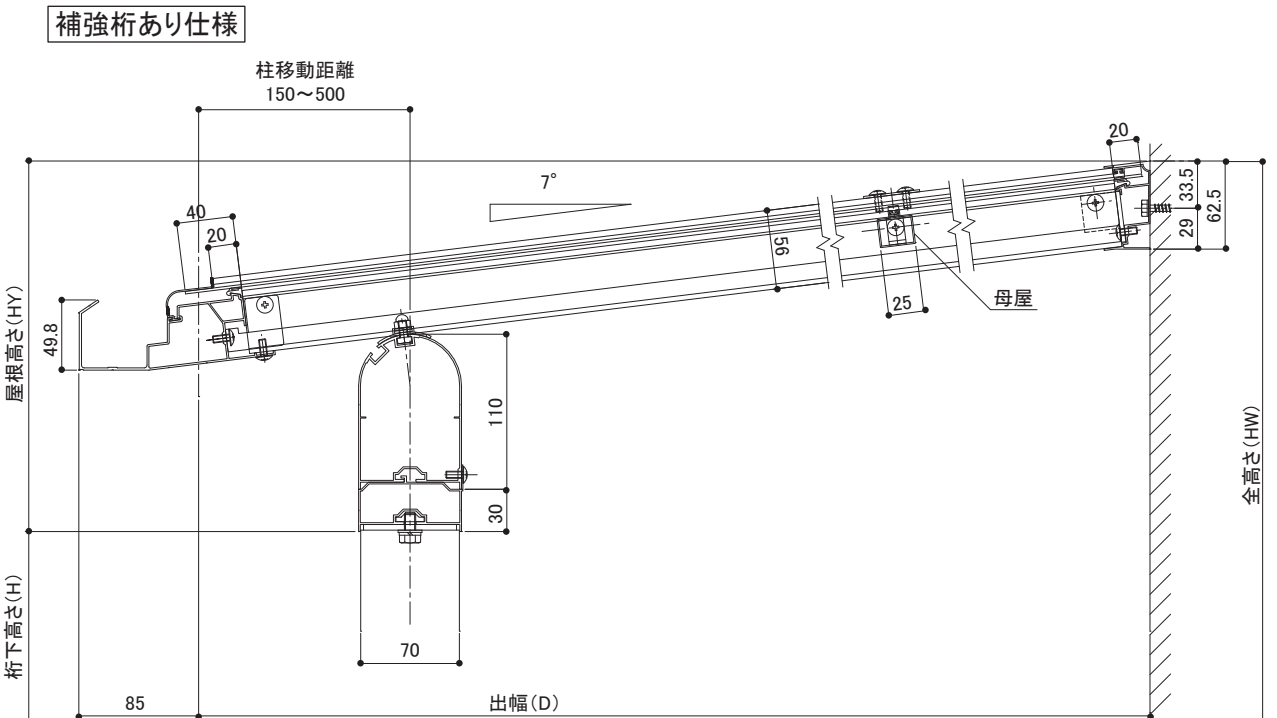


■断面図

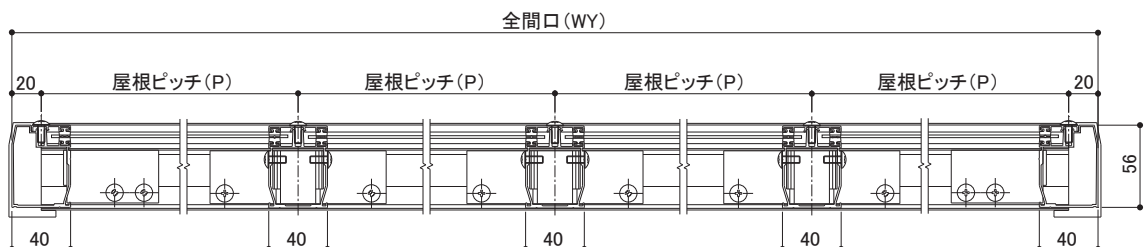
●側面断面図



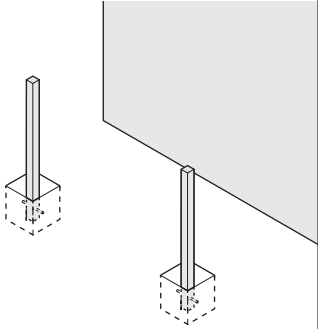
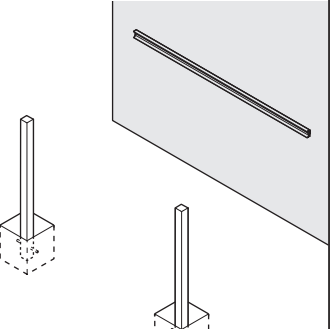
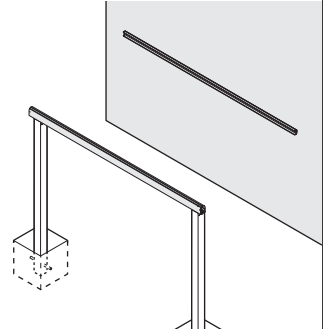
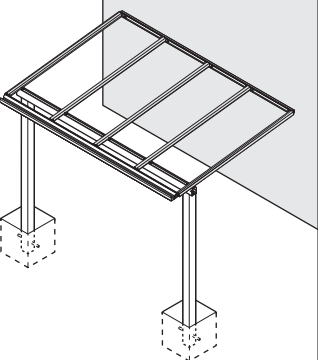
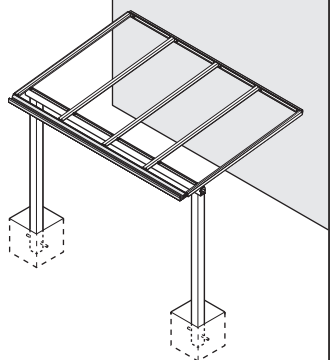
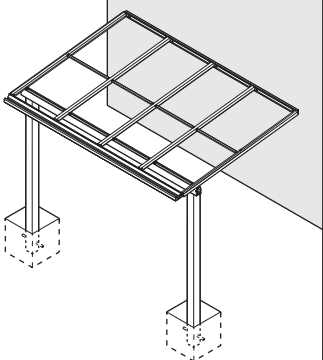
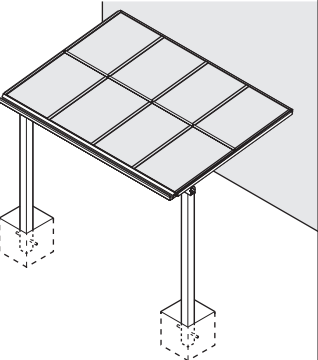
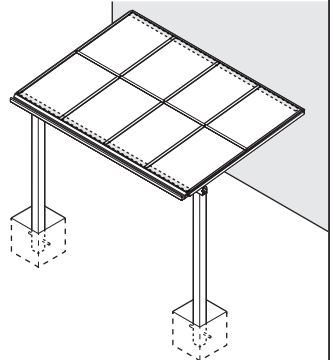
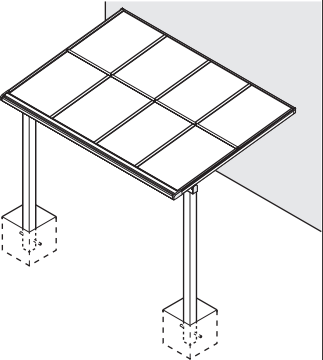
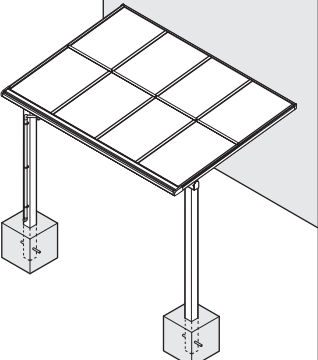
※3尺の場合、母屋はありません。



●垂木断面図



施工の流れ

<p>1 設置場所の決定</p> 	<p>2 垂木掛けの取り付け</p> 	<p>3 移動桁の取り付け</p> 
<p>4 垂木・側枠の取り付け</p> 	<p>5 移動桁用前枠の取り付け</p> 	<p>6 母屋の取り付け</p> 
<p>7 屋根材の取り付け・屋根補強材の取り付け (4尺以上の場合)</p> 	<p>8 後付ビードの取り付け</p> 	<p>9 キャップの取り付け</p> 
<p>10 縦樋の取り付け 11 支柱の埋設</p> 	<p>注意 取り付けを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれ、または物的損害のおそれがある内容を示しています。</p> <p>お願い 守っていただかないと施工できない内容、または製品に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。</p> <p>ポイント 施工をよりスムーズに行うための内容、またはよりきれいに仕上げるための内容を示しています。</p>	

施工の手順

■基本セットの施工は**1**→**2**…**11**の順に作業してください。

□連棟ユニットの施工は、**1**→**1**→**2**→**2**→**3**→**3**→**4**→**4**→**5**…**11**の順に作業してください。

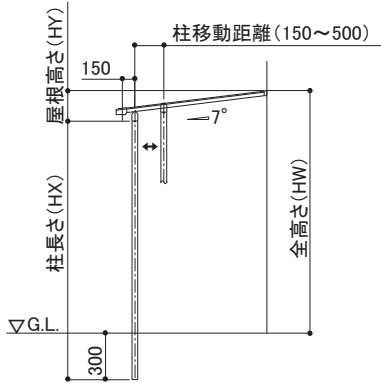
1 設置場所の決定

1. 下記の計算式より柱長さ(HX)を算出し、柱をカットしてください。

全高さ(HW)は寸法表をご参照ください。

移動桁タイプ：柱長さ(HX)=全高さ(HW)－屋根高さ(HY)+埋め込み寸法(300)

バルコニータイプ：柱長さ(HX)=全高さ(HW)－屋根高さ(HY)



●屋根高さ(HY)寸法

柱移動距離	3尺	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺	10尺
150	257	294	331	368	405	442	478	515
200	251	288	325	362	399	436	472	509
250	245	282	319	356	393	430	466	503
300	239	276	313	350	387	424	460	497
350	233	270	307	344	381	418	454	491
400	227	264	301	338	375	412	448	485
450	221	258	295	332	369	406	442	479
500	215	252	289	326	363	400	436	473

移動桁タイプの場合

2. 寸法図及び躯体の柱芯を目安に設置場所を決め、寸法表の基礎サイズを参考に基礎穴を掘ってください。

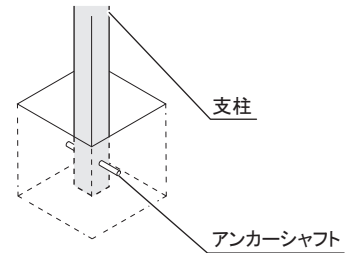
3. 柱にアンカーシャフトを入れ、柱は倒れないように仮固定してください。

注意

・軒、バルコニー等の下に取り付けをする場合は軒下とのスキマは100mm以上必要です。

お願い

・必要に応じて柱の切り詰めを行ってください。
・前面パネルを取り付ける場合は前面パネルの取付説明書を参照のうえ、柱位置を決めてください。



バルコニータイプの場合

2. バルコニー取付金具(オプション)の取付説明書を参考にし、柱位置を決定してください。

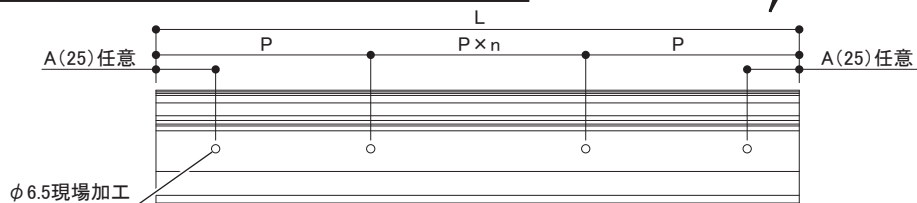
2 垂木掛けの取り付け

1. 垂木掛けに躯体の柱芯に合わせてコーチスクリュー用の穴をあけてください。

間型	呼称間口	L	3~7尺		8~10尺	
			P	n	P	n
メーター モジュール	2000	2000	1000	0	500	2
	3000	3000	1000	1	500	4
	4000	4000	1000	2	500	6
	5000	5000	1000	3	—	—
関東間	1.0間	1820	910	0	455	2
	1.5間	2730	910	1	455	4
	2.0間	3640	910	2	455	6
	2.5間	4550	910	3	—	—
	3.0間	5460	910	4	—	—

お願い

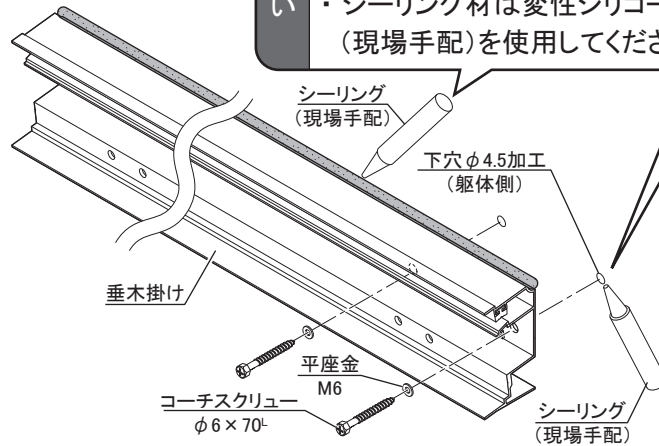
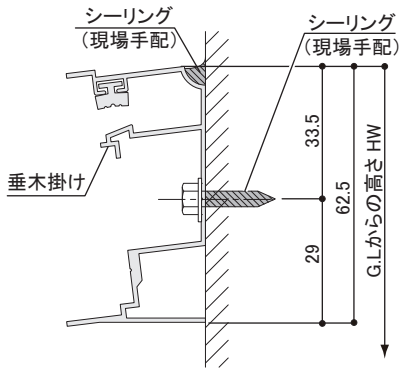
躯体の柱芯に合わせてφ6.5の穴を現場加工してください。



2. 躯体の柱・間柱に下穴を加工し、シーリングを施してからコーチスクリューで垂木掛けを取りつけてください。
3. 垂木掛けの躯体への取り付け部にシーリングを施してください。

お願い

- ・ 躯体にプライマー処理を行った後、シーリングを施してください。
- ・ シーリング材は変性シリコン系（現場手配）を使用してください。



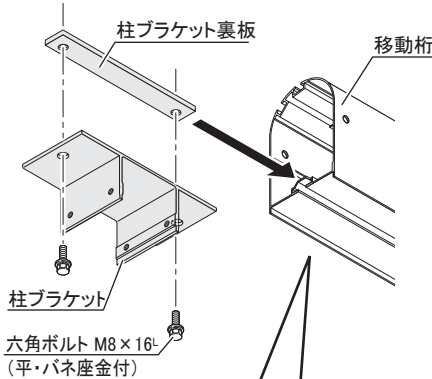
3 移動桁の取り付け

1. 移動桁に柱ブラケットを取りつけてください。
(寸法表の移動桁の仕様を参照し、補強桁の有無を確認してください。)

お願い

前面パネルの補強柱を取りつける場合はあらかじめ、補強柱用の柱ブラケット裏板を移動桁または補強桁に差し込んでください。

補強桁なし仕様

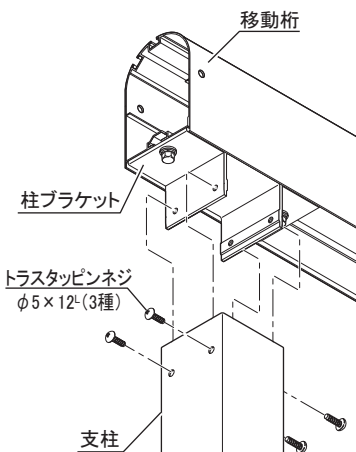


ポイント

移動桁端部に柱ブラケット端部を合わせると、柱標準位置になります。

2. 柱ブラケットと柱を組み立ててください。

補強桁なし仕様

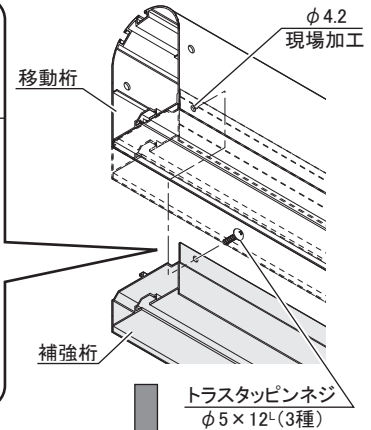
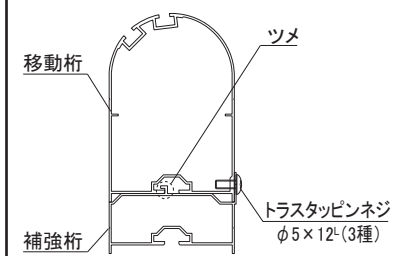


補強桁あり仕様

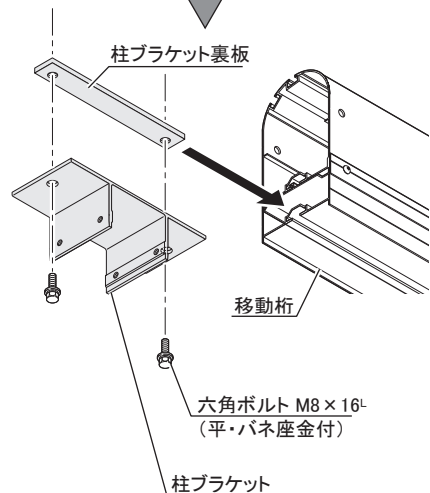
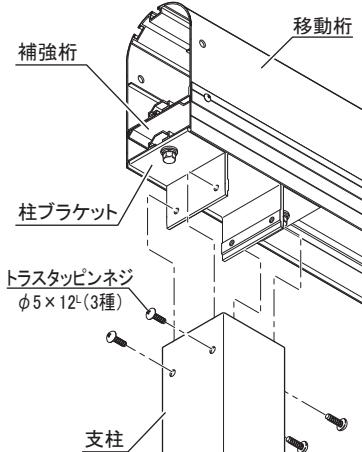
補強桁と移動桁を組み合わせると補強桁の穴部に移動桁への下穴を加工してください。

注意

ツメが引っ掛かっていることを確認して取りつけてください。



補強桁あり仕様



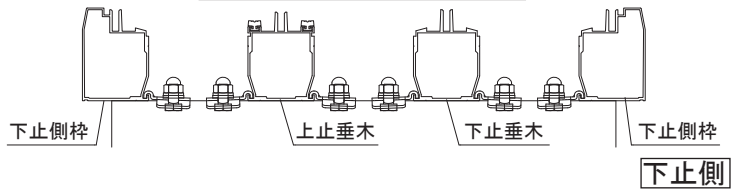
4 垂木・側枠の取り付け

バルコニータイプの場合

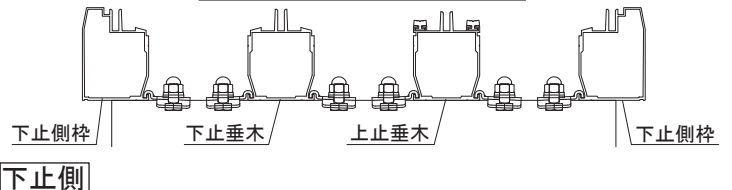
下止めする屋根材を外観右端か外観左端のどちらかに決めてください。右図を参照し、上止・下止垂木の配置順を確認してください。

ポイント 間口2000または1.0間の出幅3~7尺は全て下止垂木となります。

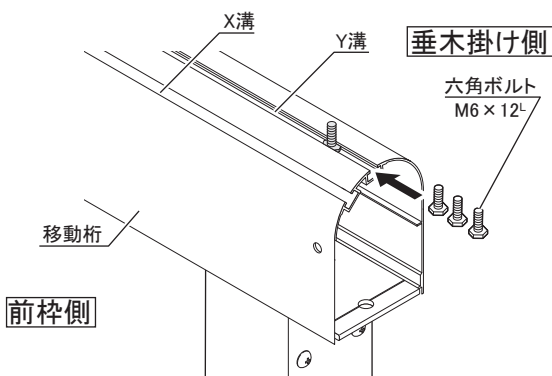
外観右端を下止めする場合



外観左端を下止めする場合



1. ボルト数量表を参照しY溝にボルトを挿入してください。



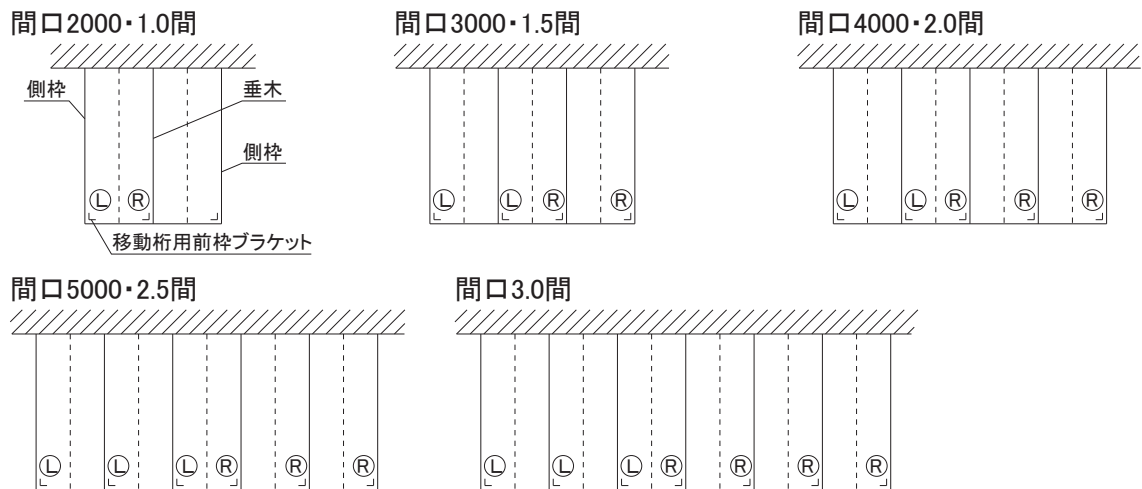
●ボルト数量表

呼称間口		出幅	
メーターモジュール	関東間	3~7尺	8~10尺
2000	1.0間	4個	8個
3000	1.5間	6個	12個
4000	2.0間	8個	16個
5000	2.5間	10個	—
—	3.0間	12個	—

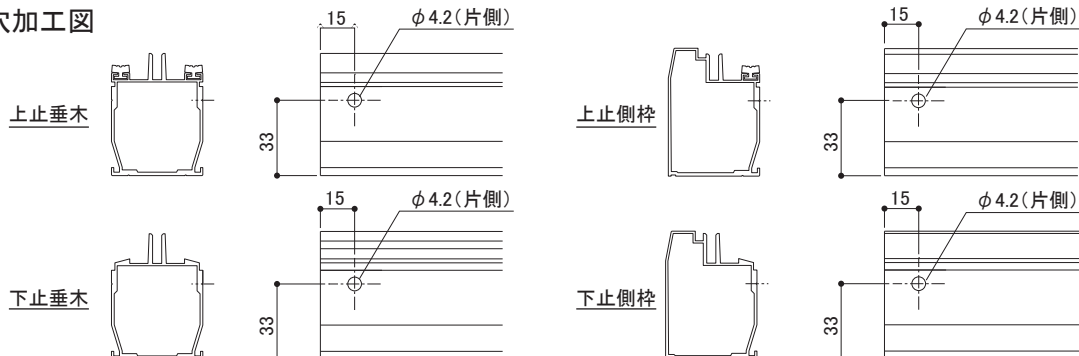
2. 下図にて移動桁用前枠ブラケットの取付位置を確認し、垂木の片側・側枠の内側に穴をあけてください。

●移動桁用前枠ブラケット取付位置

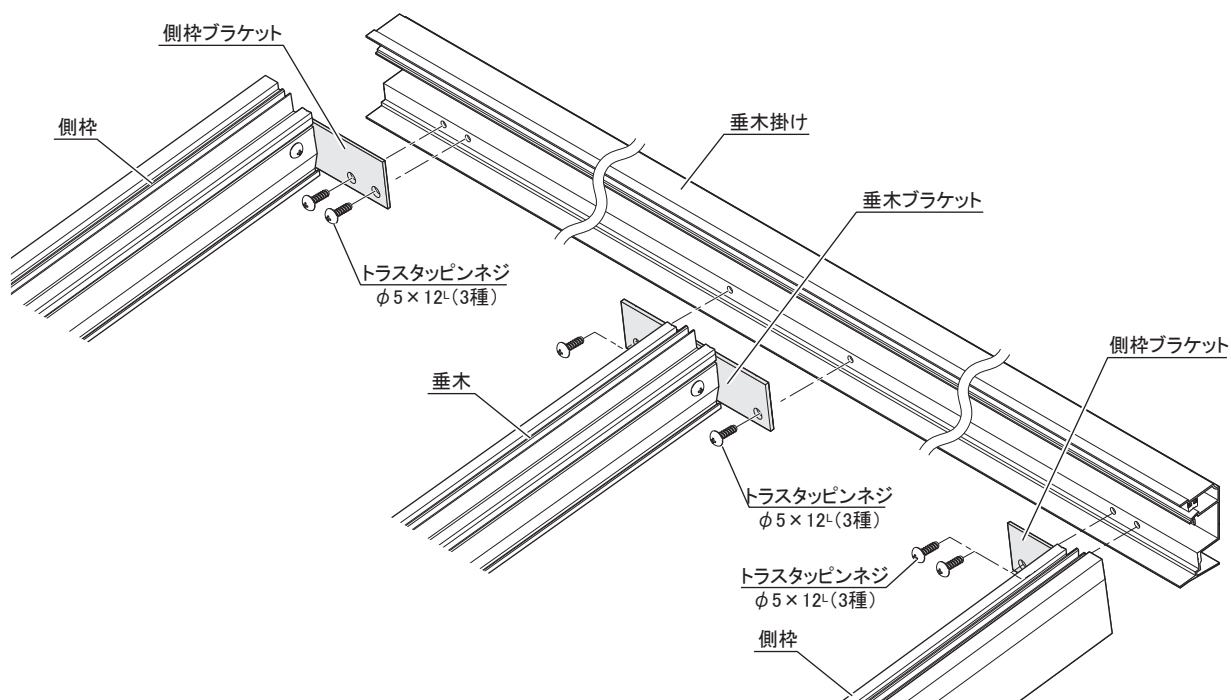
ポイント 破線は出幅が8尺~10尺の場合に追加になる垂木を示します。



●穴加工図

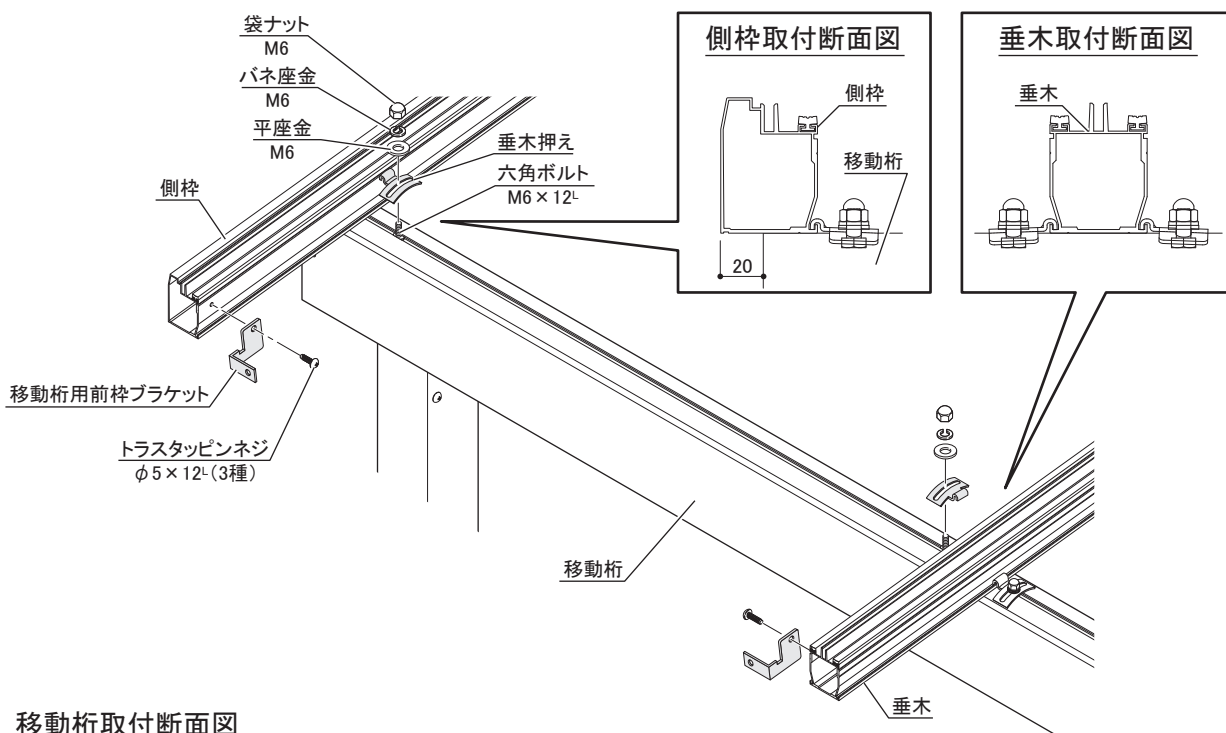


3. 垂木掛けに側枠ブラケット及び垂木ブラケットを取りつけてください。

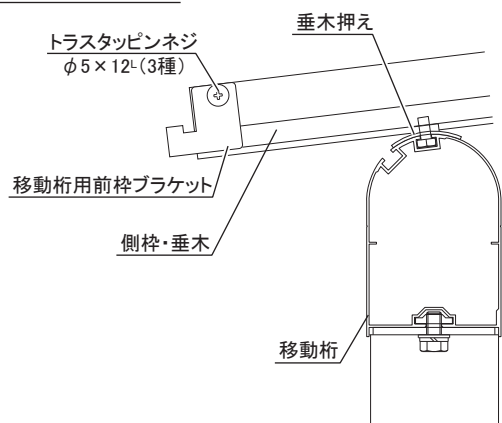


4. 加工した側枠及び垂木に移動桁用前枠ブラケットを取りつけてください。

5. 垂木押えを側枠・垂木に引っ掛け、袋ナットで取りつけてください。

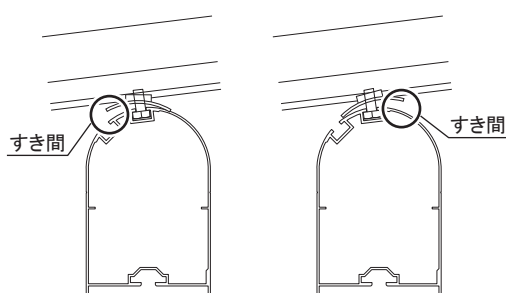


移動桁取付断面図



注意

すき間がある状態では本締めしないてください。

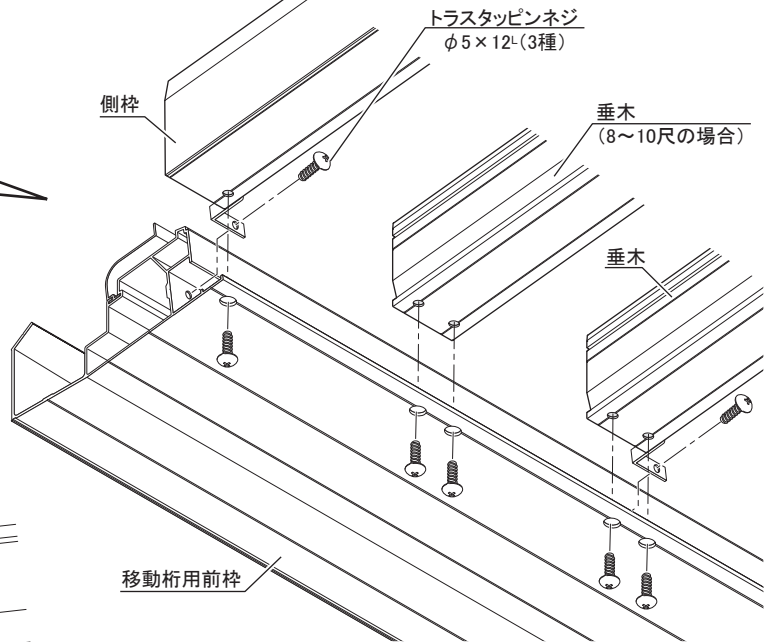
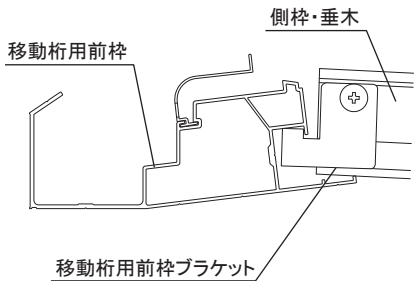


5 移動桁用前枠の取り付け

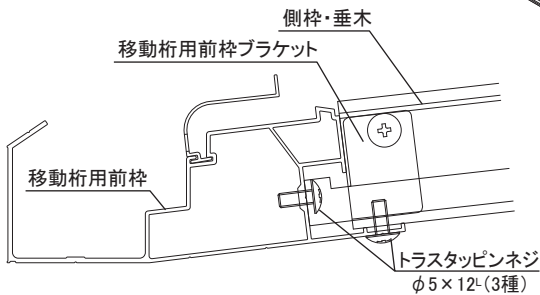
1. 側枠及び垂木に移動桁用前枠を取りつけてください。

お願い 移動桁用前枠ブラケットの固定穴で使用しない穴に穴隠しシールを貼ってください。

ポイント 移動桁用前枠ブラケットに仮置きができます。

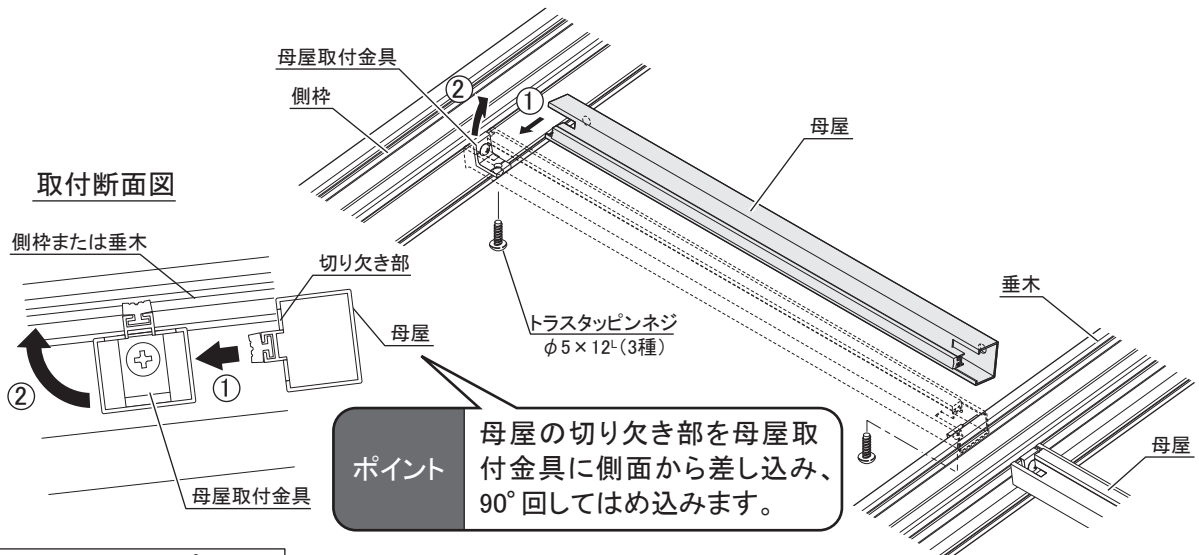


取付断面図



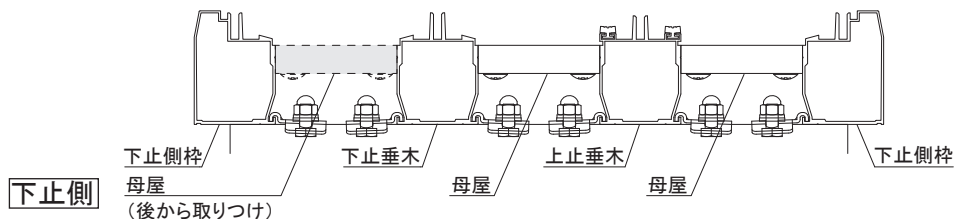
6 母屋の取り付け(4尺以上の場合)

1. 側枠及び垂木に母屋を取りつけてください。



バルコニータイプの場合

下止めする側の母屋は屋根材を取りつけた後で取り付けます。(19ページ)

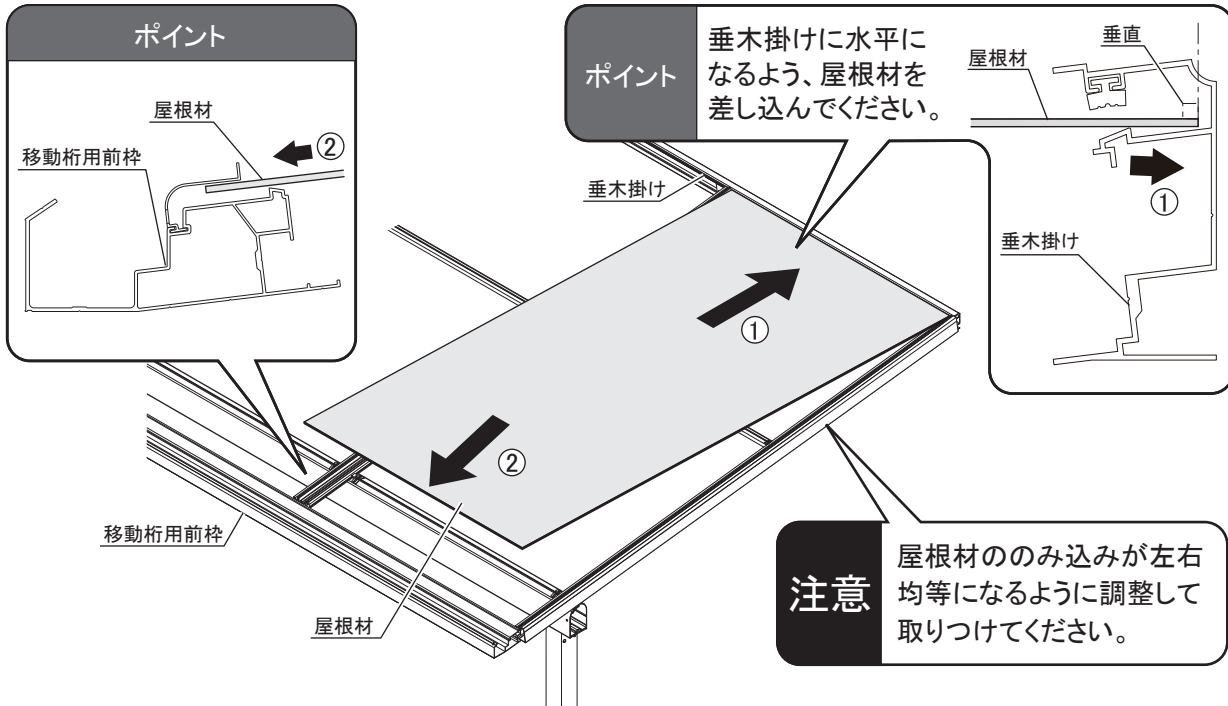


7 屋根材の取り付け・屋根補強材の取り付け(4尺以上の場合)

1. 屋根材の保護シートをはがし、垂木掛けから移動桁用前枠に屋根材を差し込んでください。

お願い

- ・ 屋根材には太陽の当たる側(外側)と太陽の当たらない側(内側)の区別がありますのでご確認のうえ取りつけてください。
- ・ 片面マット仕様の屋根材は、凹凸面を内側にしてください。



2. 屋根押えを移動桁用前枠側より取りつけてください。

ポイント

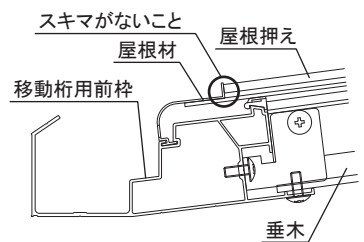
トラスタッピンネジは予備を同梱しております。

お願い

屋根押えは垂木掛け側シールのある方を垂木掛け側にして取りつけてください。

注意

移動桁用前枠と屋根押えにスキマがないことを確認してください。

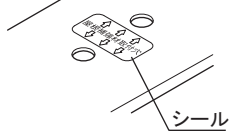


注意

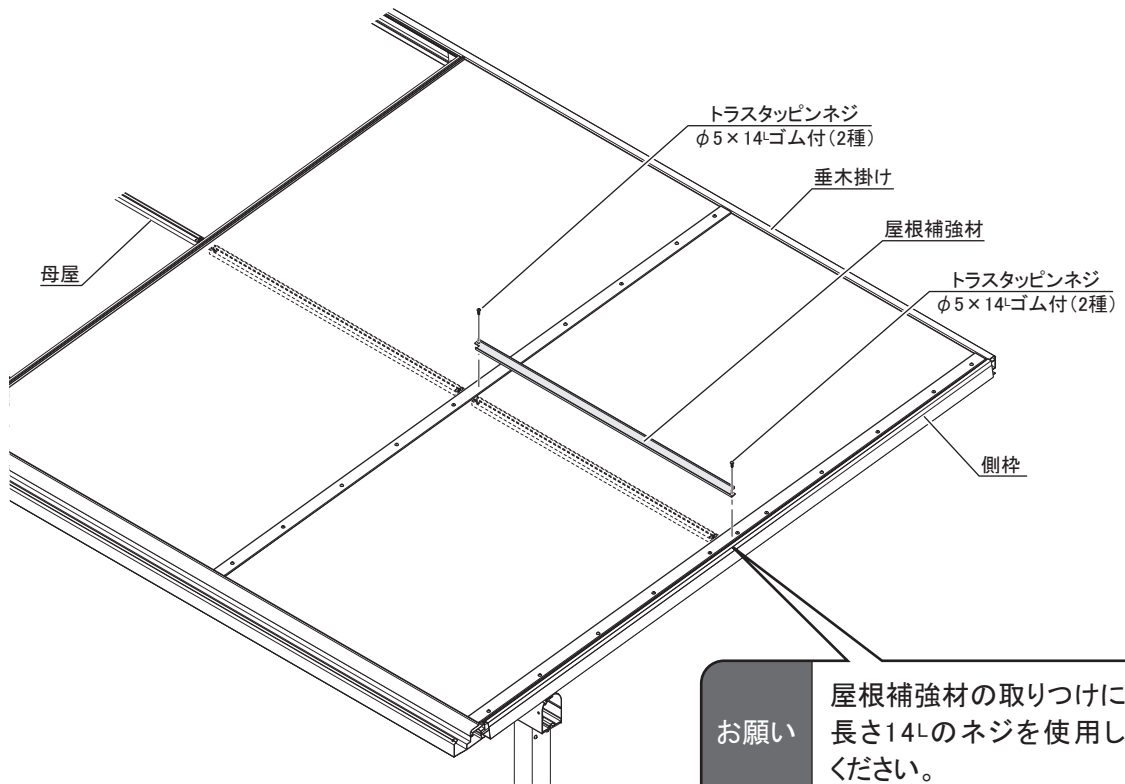
屋根押えは垂木掛けに差し込んでください。

ポイント

シールの示している穴は屋根補強材取付穴ですので使用しないでください。



3. 屋根補強材を母屋の位置に合わせ、取りつけてください。(4尺以上の場合)

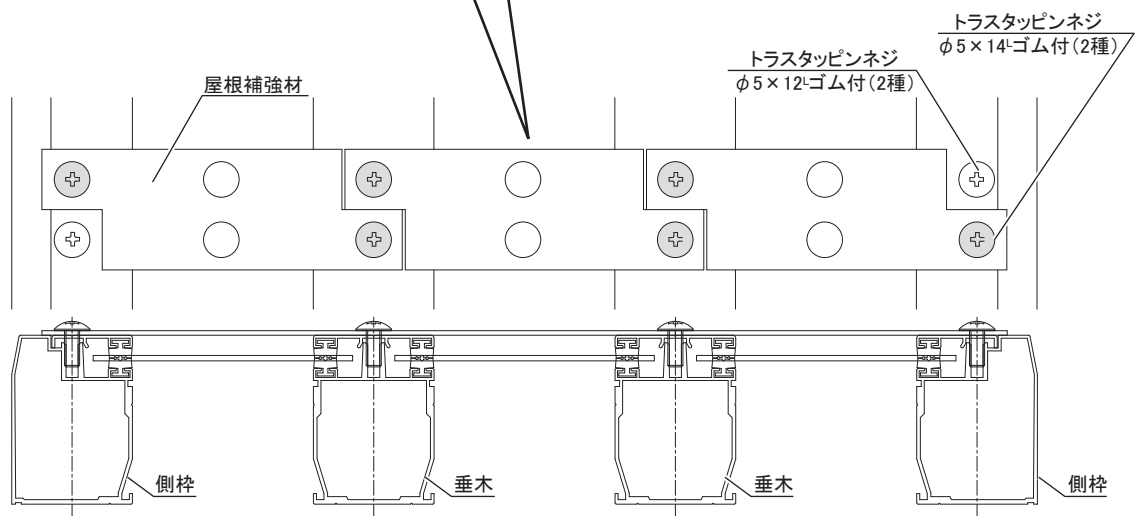


お願い
屋根補強材の取り付けには長さ14Lのネジを使用してください。

トラスタップンネジ φ5×14Lゴム付(2種)
トラスタップンネジ φ5×12Lゴム付(2種)

屋根補強材 取付詳細図

ポイント
屋根補強材中心にある加工穴は出幅8尺～10尺用の取り付け穴です。4～7尺では使用しません。



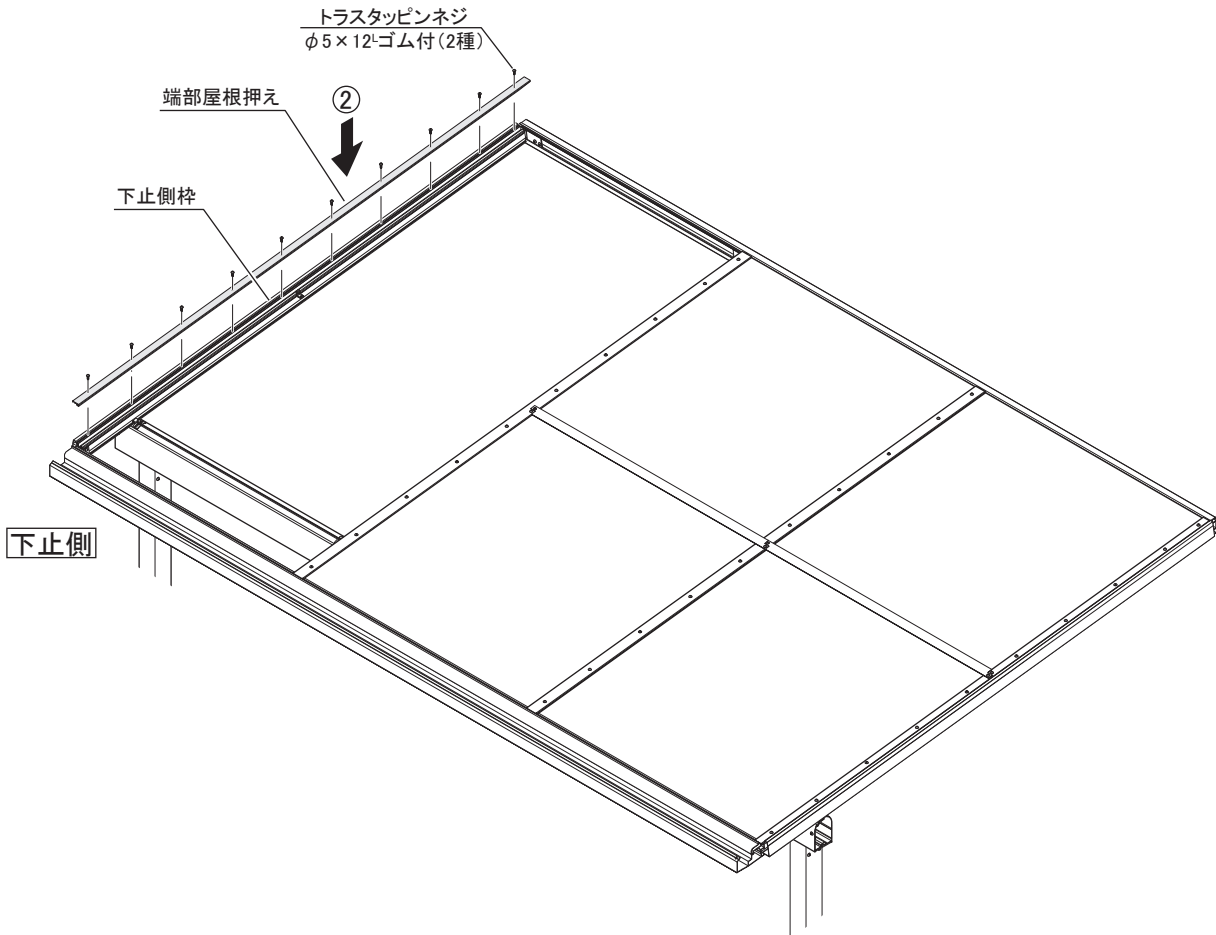
4. 1.～3.の手順を繰り返してください。

バルコニータイプの場合 (例:3スパン・外観左側が下止め)

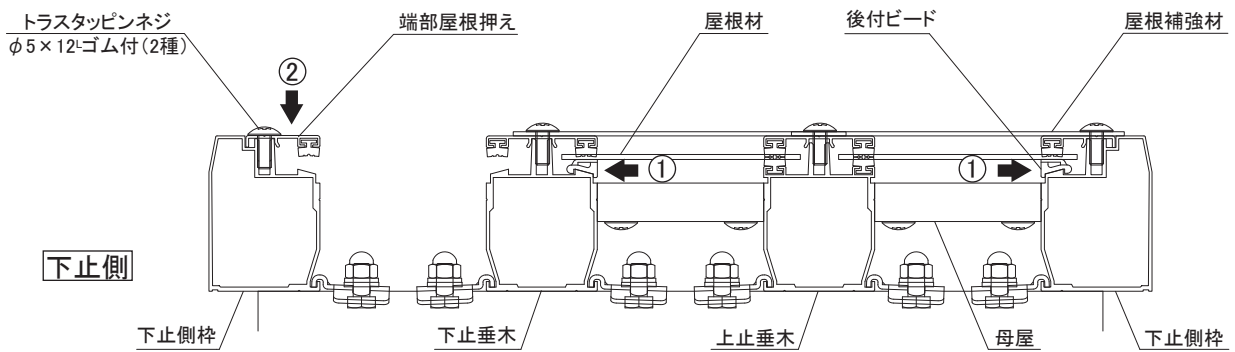
①下止めする屋根材の1スパン手前まで1.~3.の手順を繰り返してください。

お願い 下止垂木・下止側枠には後付ビードを取りつけてください。

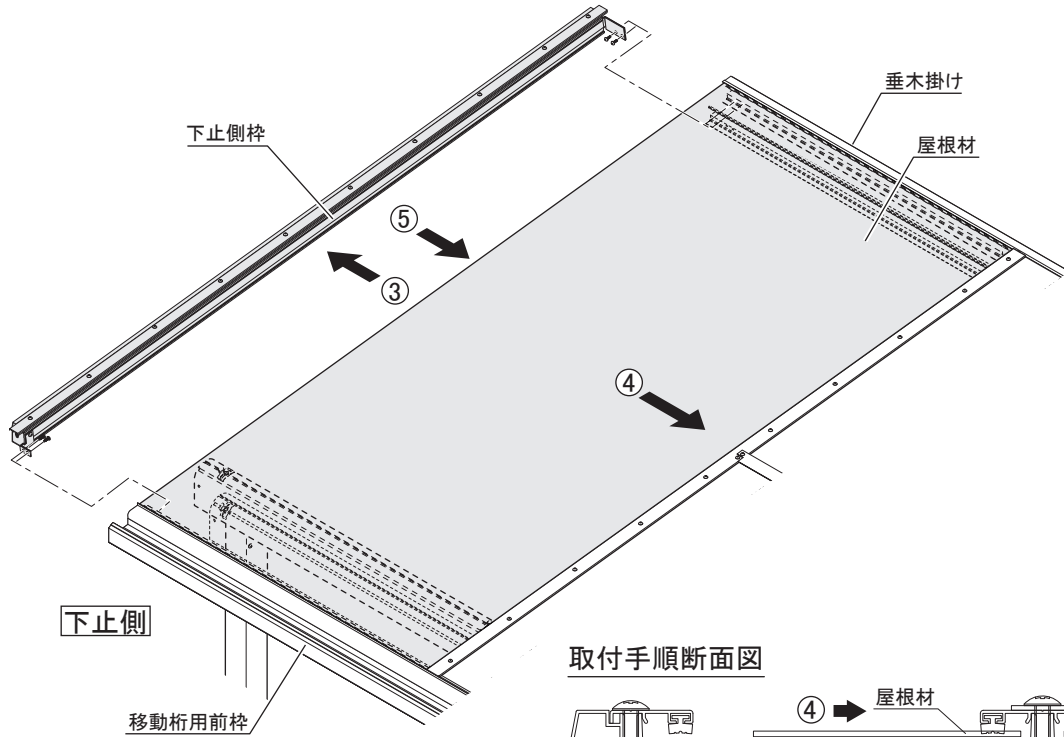
②下止めする側の下止側枠に端部屋根押えを取りつけてください。



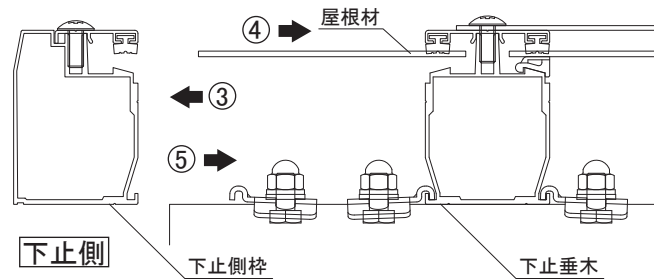
取付手順断面図



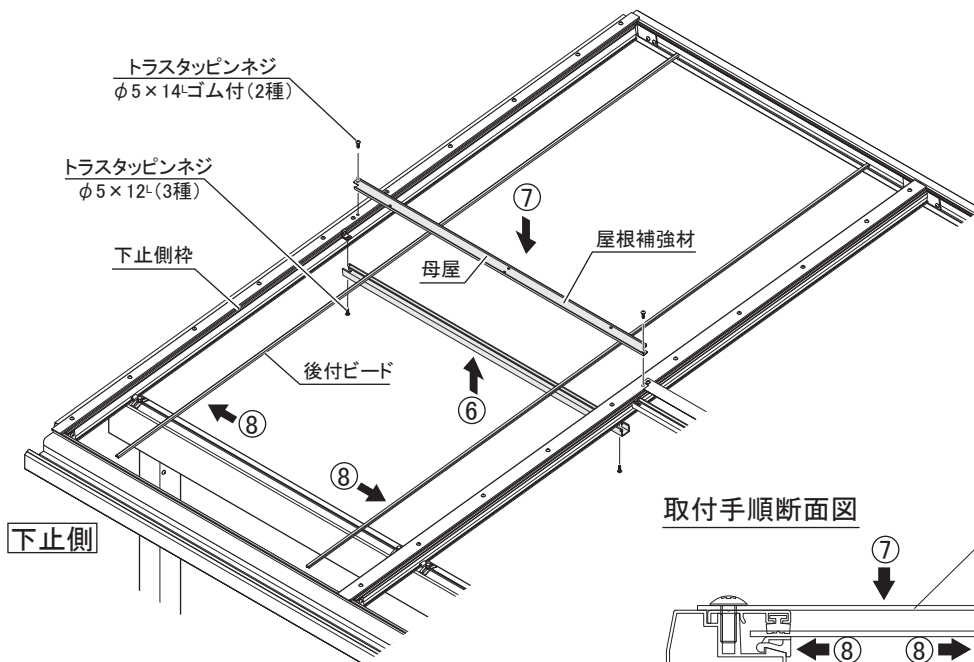
- ③ 下止めする行う側の下止側枠を一度取り外してください。
- ④ 屋根材を垂木掛け、移動桁用前枠に差し込んでから、垂木に差し込んでください。
- ⑤ 一度取り外した下止側枠を屋根材に差し込み、再度取りつけてください。



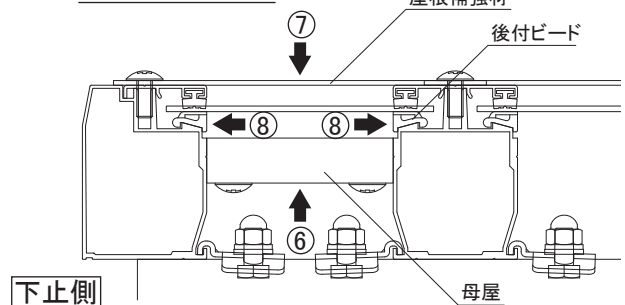
取付手順断面図



- ⑥ 母屋を取りつけてください。
- ⑦ 屋根補強材を取りつけてください。
- ⑧ 後付ビードを取りつけてください。



取付手順断面図



8 後付ビードの取り付け

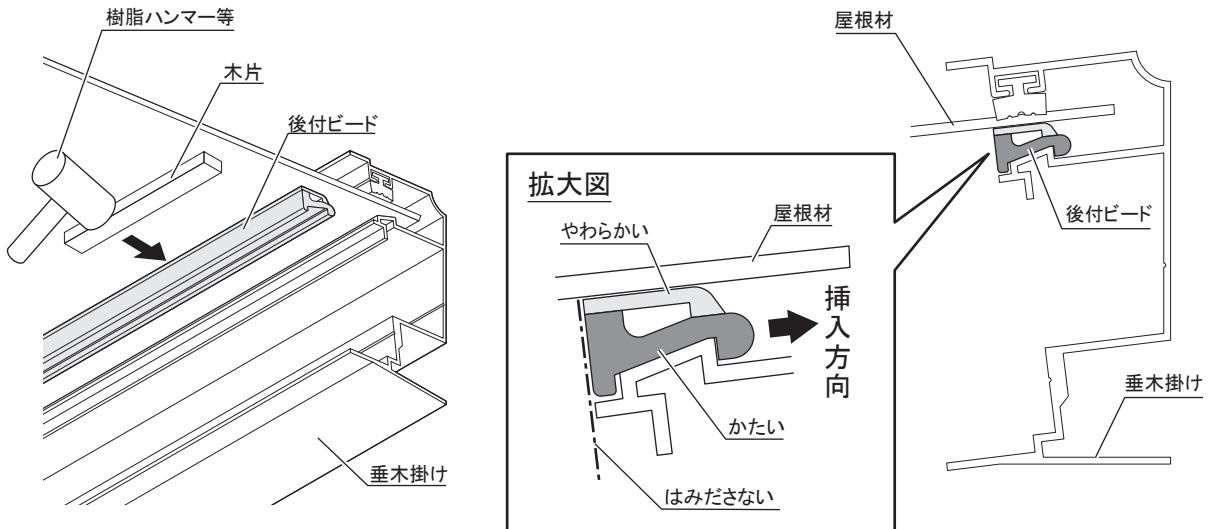
1. 後付ビードは、木片を利用し、樹脂ハンマー等で軽くたたきいれてください。

注意

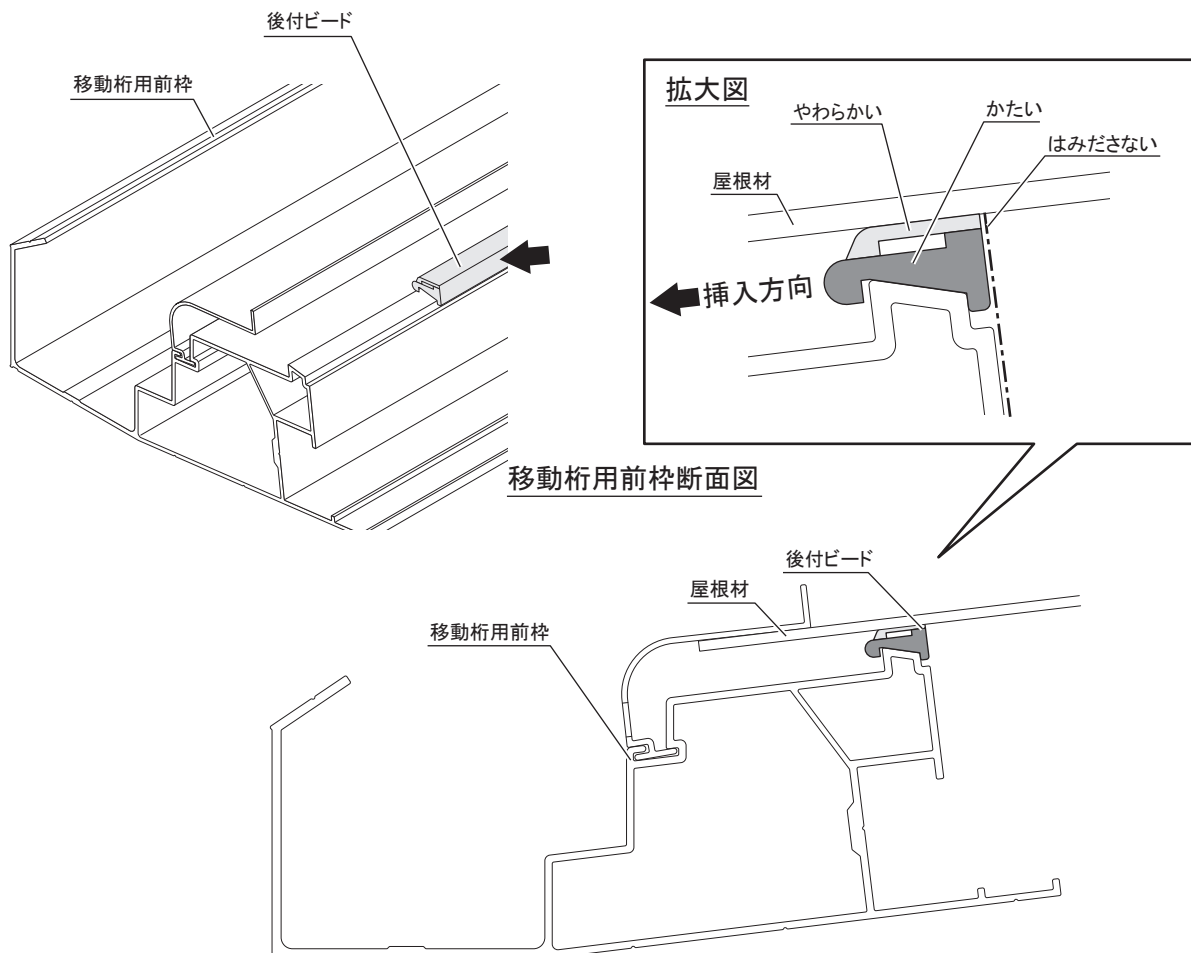
- ・ 後付ビードには向きがあります。やわらかい方が屋根材に触れるよう、挿入してください。
- ・ 後付ビード型材の端部からはみ出さないようにしてください。

● 垂木掛け側

垂木掛け断面図



● 移動桁用前枠側



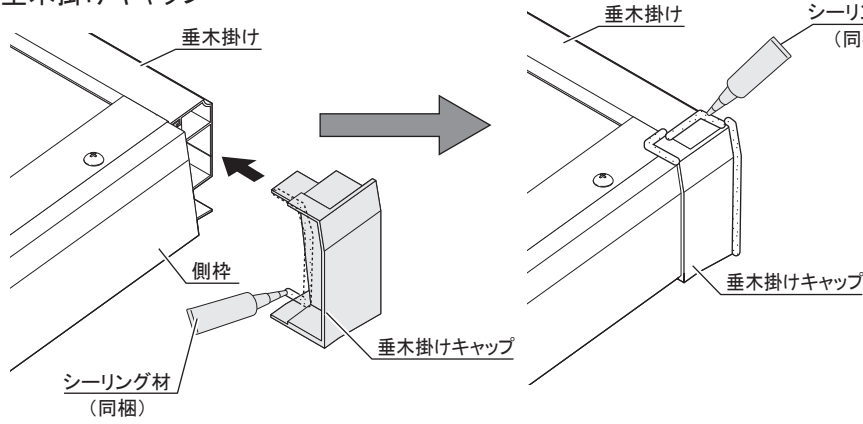
移動桁用前枠断面図

9 キャップの取り付け

1. 垂木掛けキャップ、移動桁キャップ、移動桁用前枠キャップにシーリングを施してください。
2. 垂木掛け、移動桁、移動桁用前枠、それぞれにキャップを取りつけてください。

お願い シーリング材はシリコン系 脱アルコール形(同梱)を使用してください。

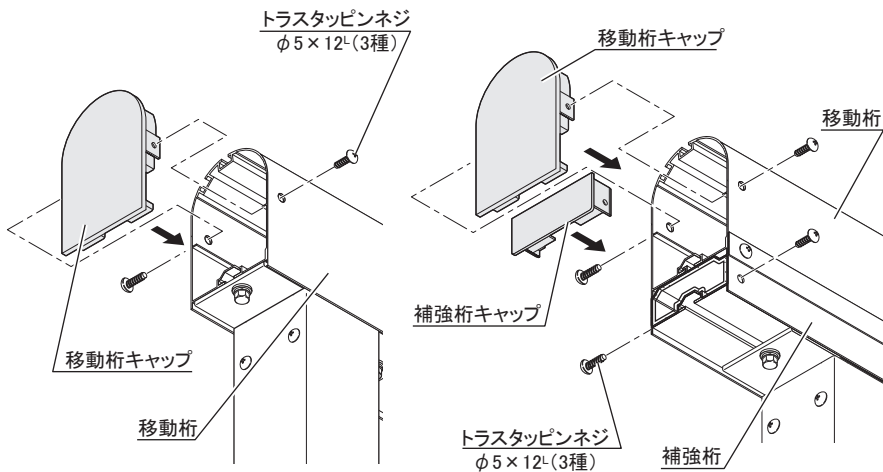
●垂木掛けキャップ



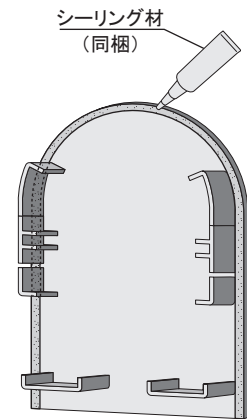
●移動桁キャップ

補強桁なし仕様

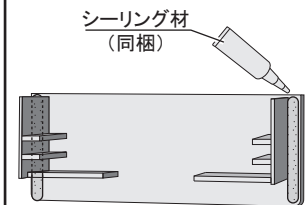
補強桁あり仕様



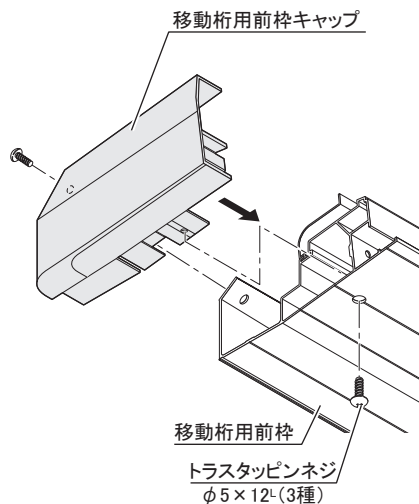
移動桁キャップ シーリング詳細図



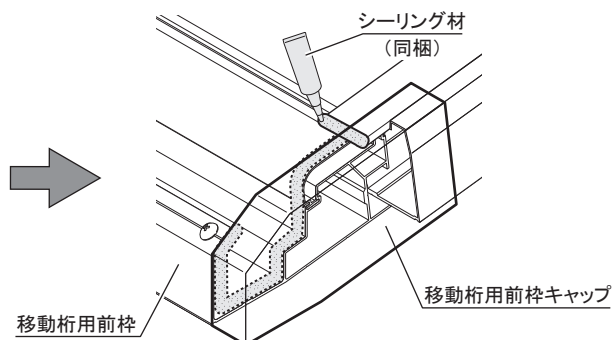
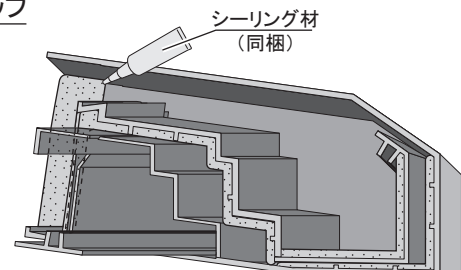
補強桁キャップ シーリング詳細図 (補強桁あり仕様の場合)



●移動桁用前枠キャップ



移動桁用前枠キャップ シーリング詳細図



10 縦樋の取り付け

1. 前枠に、樋口パッキンと樋口を取りつけてください。
2. 支柱の3ヶ所に樋サドルを取りつけてください。
3. 縦樋に樋バンドをはさみ、樋サドルに押し込んでください。
4. 樋エルボ、受け樋の接合部(下図の▶網掛け部)に接着剤を塗り、接続してください。
5. 縦樋を組みつけなかった前枠の穴に、樋口プレートを取りつけてください。
6. 移動桁用前枠の樋口および樋口プレートを取りつけたところにシーリング処理を施してください。

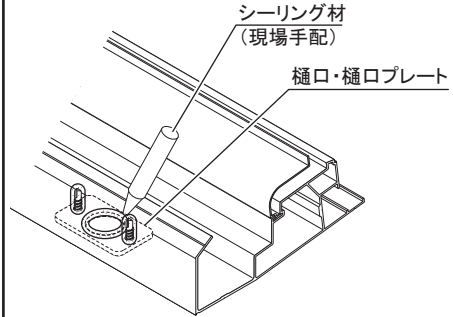
お願い

前面パネルを取りつける場合、縦樋は柱の側面側に取りつけてください。

ポイント

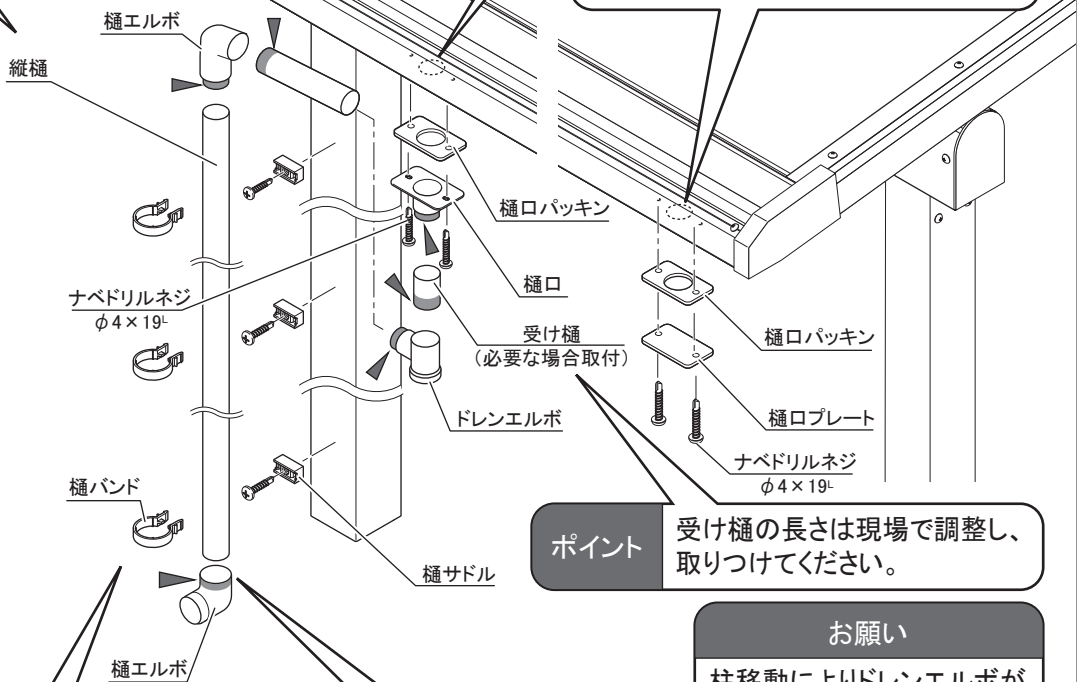
縦樋の長さは現場で調整し、取りつけてください。

●移動桁用前枠のシーリング処理



注意

ナベドリルネジで手を切らないようにしてください。

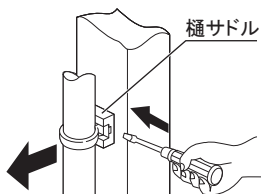


ポイント

受け樋の長さは現場で調整し、取りつけてください。

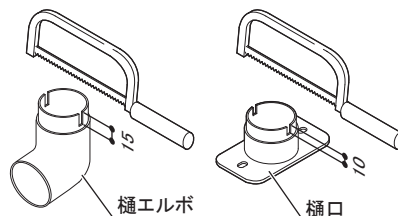
ポイント

樋バンドをはずす際は、樋サドルの横穴にマイナスドライバーを差し込み、樋バンドを外してください。



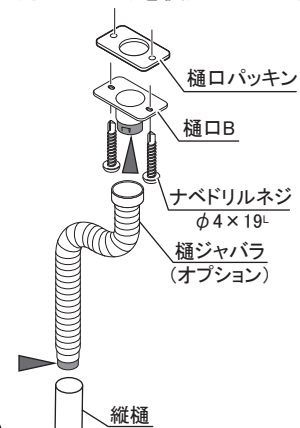
ポイント

縦樋と樋口もしくは樋エルボを接合する際、嵌合がきつく、入りにくい場合は上図を参考に、樋口及び樋エルボの挿入口に切れ込みを入れてから縦樋に挿入してください。



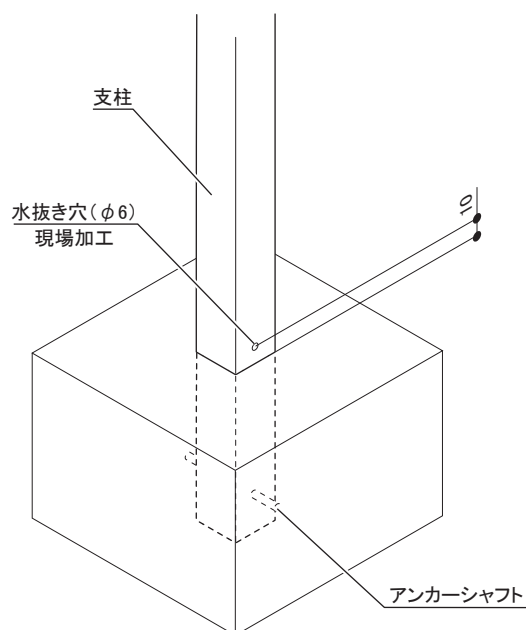
お願い

柱移動によりドレンエルボが使用できない場合は樋ジャバラ(オプション)を使用してください。



11 支柱の埋設

1. 組立終了後、設置位置及び水平・垂直を確認しコンクリートを流し込んでください。
2. 支柱は、基礎仕上面から10mm上に $\phi 6$ の水抜き穴をあけてください。



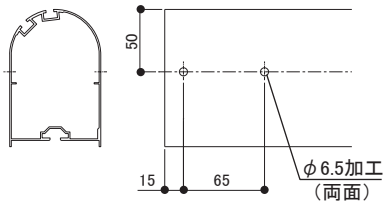
□連棟ユニットの施工

※連棟ユニット以外の施工は基本セットを参照してください。

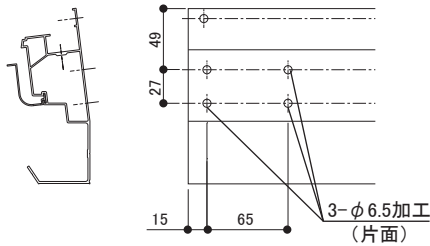
1 連結部の加工

1. 移動桁、移動桁用前枠、補強桁(補強桁あり仕様の場合のみ)の連結部に穴をあけてください。

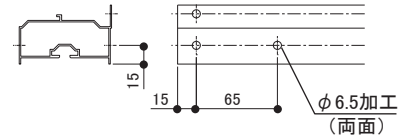
●移動桁



●移動桁用前枠

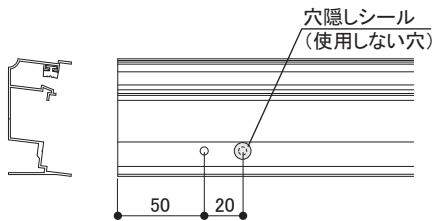


●補強桁(補強桁あり仕様の場合)



2. 垂木掛けの使用しない穴に穴隠しシールを貼りつけてください。

●垂木掛け

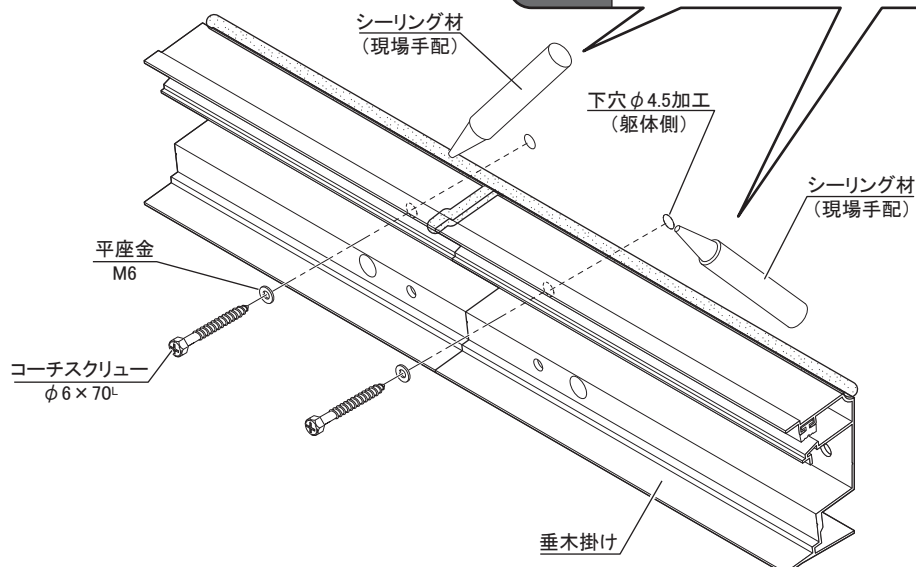


2 垂木掛けの連結

1. 垂木掛けの連結部にシーリングを施してください。

お願い

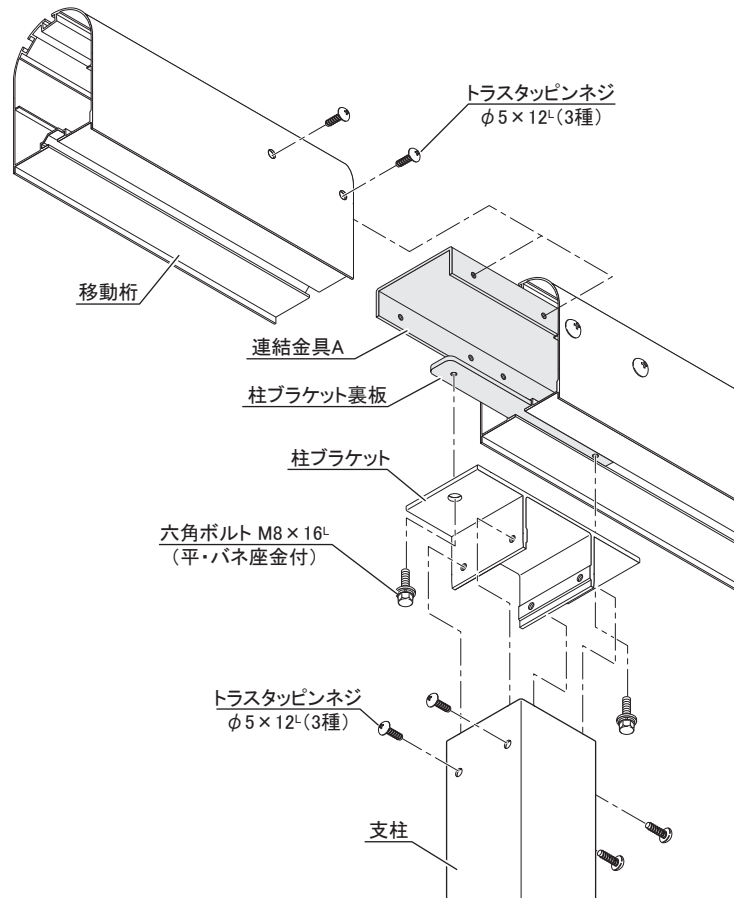
- ・ 躯体にプライマー処理を行った後、シーリングを施してください。
- ・ シーリング材は変性シリコーン系(現場手配)を使用してください。



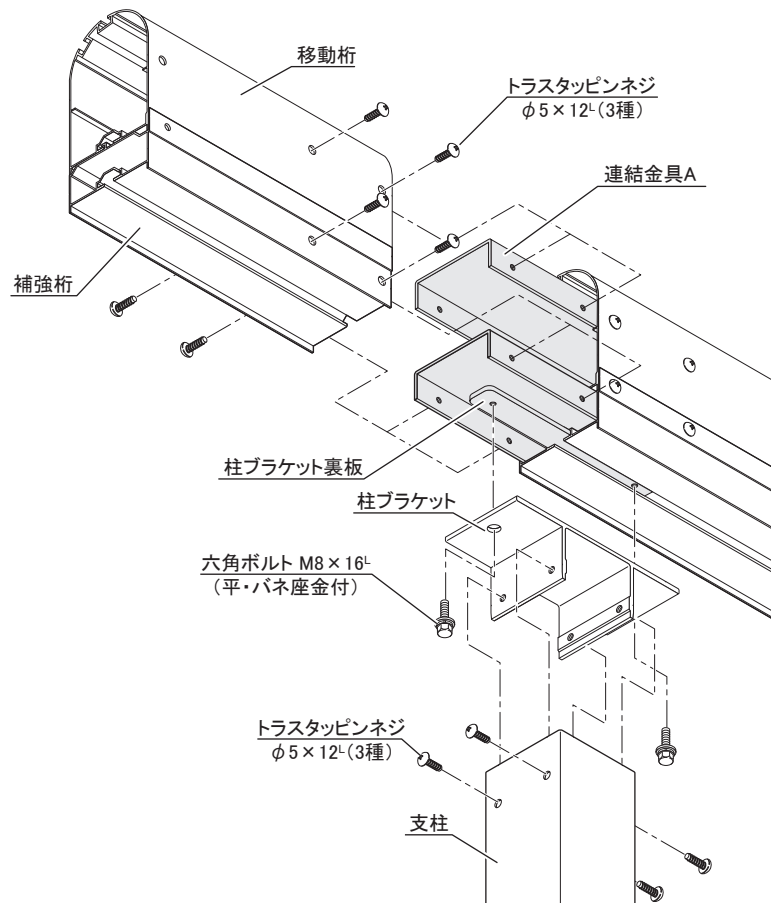
3 移動桁の連結

1. 移動桁を連結金具で連結してください。

補強桁なし仕様

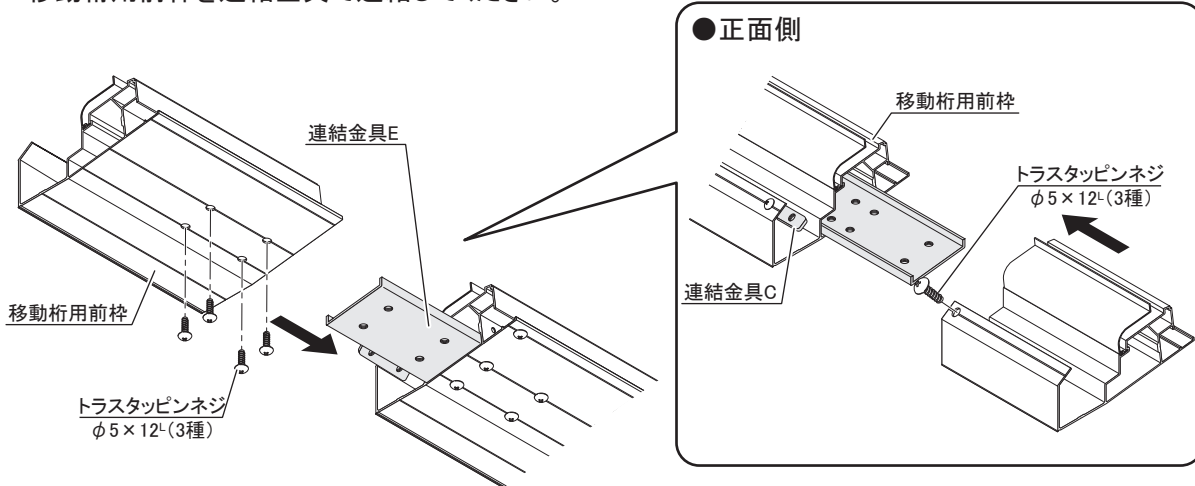


補強桁あり仕様



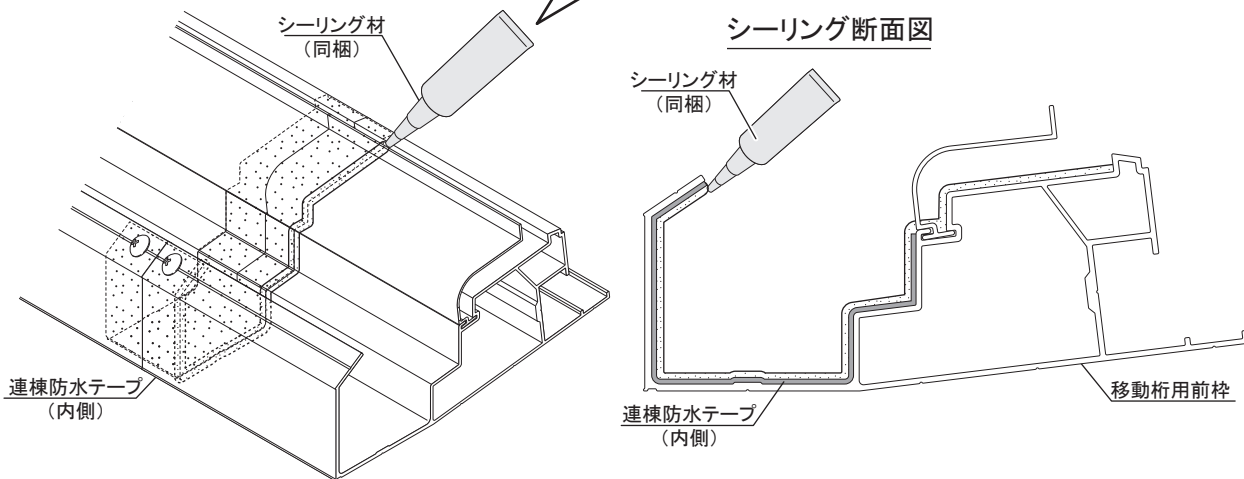
4 移動桁用前枠の連結

1. 移動桁用前枠を連結金具で連結してください。



2. 形材突き合わせ部にシーリングちぎれ防止の連棟防水テープを貼り、上からシーリングを施してください。

お願い シーリング材はシリコン系 脱アルコール形(同梱)を使用してください。



お客様へ...

モダンルーフ75をお買いあげいただきありがとうございました。

いつまでもご使用いただくため、下記の事項にご留意くださいますようお願いいたします。

1. 施工者より渡されました取付・取扱説明書は大切に保管してください。
2. いつまでもきれいに気持ちよくご使用いただくため、時々布で表面の汚れを拭きとってください。
3. お手入れは、うすめた中性洗剤を使用し、拭きとったのち洗剤が残らないようにしてください。
シンナー等の石油系溶剤は絶対に使用しないでください。
4. 積雪が20cmになる前に、必ず雪おろしをしてください。
5. 商品をむやみに揺すったり、乗ったり、寄りかかったり、商品の上に重い物を載せたりしないでください。故障や破損の原因になります。
6. 商品のそばでゴミ等を焼いたりしないでください。変形の原因になります。
7. 前枠の樋部を掃除する際は、とびだしているネジで手を切らないよう、ご注意ください。

●改良のため予告なしに製品の一部を変更することがありますのでご了承ください。

製造元



四国化成工業株式会社

17.8改訂

No.190130-001